



日時 2016年3月3日(木) 10:00-17:30 (開場 9:20)
3月4日(金) 09:30-16:30 (開場 9:00)
場所 国立国語研究所 2F 講堂
主催 国立極地研究所

Final Symposium on GRENE-Arctic Climate Change Research Project

PROGRAM

Date 3-4 March, 2016
Venue National Institute for Japanese Language and Linguistics (NINJAL)
Host National Institute of Polar Research (NIPR)

GRENE-Arctic

目次

| | |
|----------------|----|
| ご挨拶 | 3 |
| プログラム | 4 |
| ポスター発表一覧 | 6 |
| 参加者へのご案内 | 8 |
| 発表者へのご案内 | 10 |
| 詳細プログラム 口頭 1日目 | 12 |
| 口頭 2日目 | 15 |
| ポスター発表 | 16 |

【開催概要】

日時 2016年3月3日(木) 10:00-17:30 (開場9:20)
3月4日(金) 09:30-16:30 (開場9:00)

場所 国立国語研究所 2F 講堂

主催 国立極地研究所

懇親会 2016年3月4日(金) 18:00-20:00 立川グランドホテル 4F カルロの間

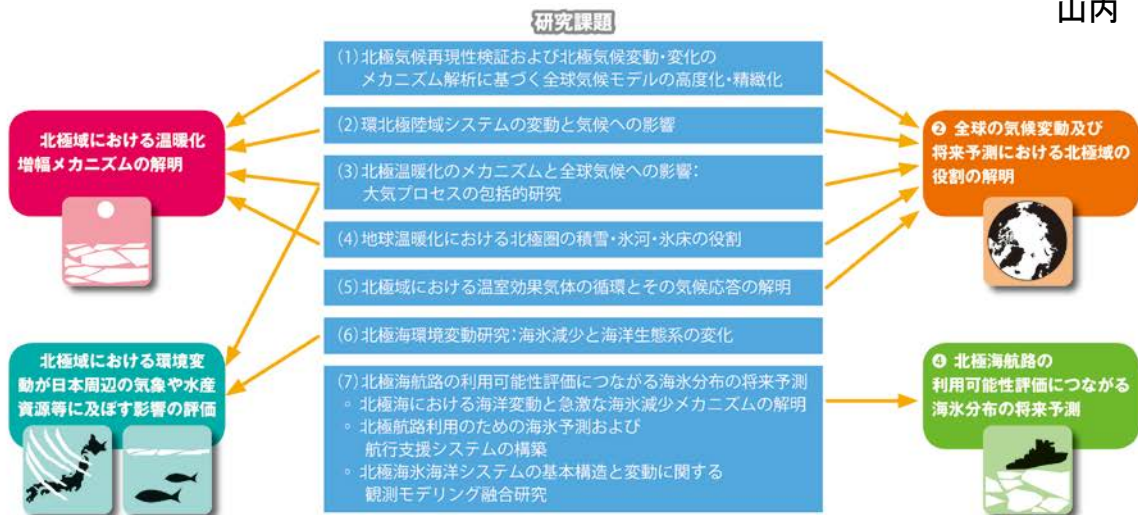
ご挨拶：GRENE 北極気候変動研究事業 研究成果報告会の開催について

グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス（GRENE）事業 北極気候変動研究事業「急変する北極気候システム及びその全球的な影響の総合的解明」（通称：GRENE 北極気候変動研究事業）は、事業期間の終了を迎え、いよいよ研究成果をとりまとめて発表する段階になりました。この報告会では、5年間にわたる事業の総まとめとして、各分野の研究成果の報告から、事業の到達点を確認しあうとともに、今後の北極気候変動研究の更なる発展に資することを目的としています。

本事業は、2011年～2015年度の5年間にわたって実施された、わが国初の分野横断、観測・モデル融合、オールジャパンによる北極気候研究です。国内39の研究機関から延べ300人の研究者が参加し、極めて画期的なフラッグシッププロジェクトとして共同研究を行いました。提示された4つの戦略研究目標に対して、トップダウンで示された目標に向けてボトムアップで構想された課題を進めるといふ、大変ユニークな構成で進めてきました。

個々の研究成果を統合した、より高度な科学的成果の提示に向けて、関係者が一丸となって取り組みを進めてきました。本事業にご参加された研究者の皆さま、支えてくださった方々に、深く御礼申し上げます。本事業の成果が、サイエンスコミュニティーに、そして広く社会に貢献することを願っています。

GRENE 北極気候変動研究事業
プロジェクトマネージャ
山内 恭



GRENE北極気候変動研究事業 研究成果報告会 プログラム

日時 2016年3月3日(木) 10:00-17:30、3月4日(金) 9:30-16:30
会場 国立国語研究所 2F講堂

2016年3月3日(木)

10:00 ごあいさつ

10:05 事業概要の報告－5年間の取り組みについて

山内 恭 (国立極地研究所)

<各研究課題等からの成果発表>

陸域 座長:杉本敦子 (北海道大学)

10:15 北極気候変動にともなう東シベリア陸域環境の変化

飯島慈裕 (海洋研究開発機構)

10:30 周極域亜寒帯林の現存量・構造変化の歴史と気候変動に対する反応

大澤晃 (京都大学)

10:45 年輪解析と生態系モデルによる周極域森林生態系の過去・現在・将来

鄭俊介 (国立極地研究所/北海道大学)

11:00 モデル－観測連携 GTMIPの成果と将来に向けて

斉藤和之 (海洋研究開発機構)

温室効果気体 座長:青木周司 (東北大学)

11:15 スパールバル諸島ニーオルスン及びカナダ・チャーチルにおける大気中の温室効果気体および関連気体の変動

森本真司 (東北大学)

11:30 チャクチ海とカナダ海盆域における海洋表層の二酸化炭素とメタンの分布及び変動要因

石井雅男 (気象庁気象研究所)

11:45 北極域上空における温室効果気体の変動

町田敏暢 (国立環境研究所)

12:00 Modelling of greenhouse gases and related species in the Arctic environment

Prabir K. Patra (海洋研究開発機構)

12:15 昼食 (60分)

データアーカイブ 座長:榎本浩之 (国立極地研究所)

13:15 北極域データアーカイブの開発と課題

矢吹裕伯 (国立極地研究所)

雪氷 座長:榎本浩之 (国立極地研究所)

13:30 北極圏の氷河群変動と気候影響

榎本浩之 (国立極地研究所)

13:45 グリーンランド北西部における溢流氷河の質量減少

津滝俊 (国立極地研究所/
北海道大学低温科学研究所)

14:00 北極域の広域積雪観測と気候影響

堀雅裕 (宇宙航空研究開発機構)

14:15 北極域積雪中のブラックカーボン及びダストに関する研究

東久美子 (国立極地研究所)

14:30 休憩 (15分)

大気 座長:浮田甚郎 (新潟大学)

14:45 北極気候に関わるブラックカーボン・エアロゾルと雲微物理量

小池真 (東京大学)

15:00 北極域の雲と特性と海氷相互作用研究

岡本創 (九州大学)

15:15 北極域の海氷減少が中緯度に及ぼす影響と対流圏－成層圏結合

山崎孝治 (国立極地研究所/北海道大学)

モデル 座長:野沢徹 (岡山大学)

15:30 雪氷新過程導入によるGCM地表気温バイアスの改善

大石龍太 (国立極地研究所/
東京大学大気海洋研究所)

15:45 CMIP5気候モデルにおける夏季北ユーラシアの降水再現性

廣田渚郎 (国立極地研究所/
東京大学大気海洋研究所)

16:00 Seasonal evolution of surface temperature changes over the Arctic Ocean under global warming in CMIP5 models

Laine Alexandre (国立極地研究所/
東京大学大気海洋研究所)

16:15 休憩 (15分)

海氷・北極海航路 座長:島田浩二 (東京海洋大学)

16:30 北極海氷海洋のモデリングと予測システム

羽角博康 (東京大学大気海洋研究所)

16:45 衛星データを用いた北極海の海氷中期予測

木村詞明 (国立極地研究所/東京大学)

17:00 衛星観測データから計算された海氷運動ベクトルを利用した力学的な積み重なりによる海氷厚増大の推定

吉澤枝里 (東京海洋大学)

17:15 アラスカ沖パロー沿岸ポリニヤに関する観測・衛星・モデル融合研究

平野大輔 (国立極地研究所)

17:30 1日目終了

2016年3月4日(金)

<各研究課題等からの成果発表> (前日のつづき)

海氷・北極海航路 座長:島田浩二 (東京海洋大学)

9:30 北極海航路上の海氷厚モニタリング技術の開発

舘山一孝 (北見工業大学)

海洋生態系 座長:菊地隆 (海洋研究開発機構)

9:45 チャクチ海における海洋酸性化:底層における長期の炭酸カルシウム未飽和

川合美千代 (東京海洋大学)

10:00 海氷減少に対する基礎生産者の応答

藤原周 (海洋研究開発機構)

10:15 北極海に輸送された太平洋産プランクトンの運命

松野孝平 (国立極地研究所/北海道大学)

10:30 休憩 (10分)

<各戦略研究目標からの成果発表> 座長:高田久美子 (国立極地研究所/国立環境研究所)

10:40 北極域における温暖化増幅メカニズムの解明

野沢徹 (岡山大学)

11:10 全球の気候変動及び将来予測における北極域の役割の解明

杉本敦子 (北海道大学)

11:40 北極-中緯度気候リンクの理解に向けて

浮田甚郎 (新潟大学)

12:10 昼食 (60分)

13:10 北極海環境変動研究:海氷減少と海洋生態系の変化

菊地隆 (海洋研究開発機構)

13:40 北極海航路の利用可能性評価につながる海氷分布の将来予測

島田浩二 (東京海洋大学)

<総括-成果のまとめ>

14:10 GRENE北極事業における5年間の成果

山内恭 (国立極地研究所)

<ポスターセッション>

14:30 14:30- コアタイム 1

15:05- コアタイム 2

15:40- コアタイム終了、引き続きポスターセッション

16:30 研究成果報告会 終了

(懇親会 18:00-20:00 立川グランドホテル 4Fカルロの間)

※プログラムや発表タイトルは都合により変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ポスター発表一覧

日時 2016年3月4日(金) 14:30-16:30
(Core time 14:30-15:40)
会場 国立国語研究所 2Fホワイエ

Set up 3月4日 14:00まで
Core time1 14:30~15:05(ポスター-奇数番号)
Core time2 15:05~15:40(ポスター-偶数番号)
終了 16:30
Removal 16:45まで

| 研究課題1. モデル | | |
|------------|---------------------------------|--|
| P01-001 | 保坂征宏 (気象研究所) | 陸面モデルHAL における氷床域の取り扱いの改善 |
| P01-002 | 高田久美子 (国立極地研究所/国立環境研究所) | トップダウン法とボトムアップ法によるCO2フラックス推定値の比較 -シベリア・ヤクーツでの試み- |
| P01-003 | 吉森正和 (北海道大学) | 将来予測における北極域温暖化増幅の季節性と大きさを決める支配的要因 |
| 研究課題2. 陸域 | | |
| P02-004 | 鷹野真也 (北海道大学) | 東シベリアインディギルカ川低地における積雪空間分布 |
| P02-005 | 新宮原諒 (北海道大学) | 東シベリアインディギルカ川低地におけるCH4放出フラックスの年々変動とδ13C-, δD-CH4から見たプロセス |
| P02-006 | FAN Rong (北海道大学) | Ecology of willow in the Arctic for reconstruction of Indigirka river condition and its tributaries. |
| P02-007 | 両角友喜 (北海道大学) | High resolution vegetation mapping for GRENE-TEA observation sites and Estimation of CH4 emission in Taiga-Tundra boundary |
| P02-008 | 村瀬潤 (名古屋大学) | 北東シベリアタイガ・ツンドラ境界域湿地土壌のメタン酸化ポテンシャル |
| P02-009 | 小谷亜由美 (名古屋大学) | 東シベリアカラマツ林でのフラックス観測と湿潤イベントへのカラマツ林の応答 |
| P02-010 | 松浦陽次郎 (森林総合研究所) | Comparative study on forest soil properties among circumpolar regions |
| P02-011 | 森下智陽 (森林総合研究所) | 周極域の森林におけるイワダレゴケの分布と成長速度 |
| P02-012 | 藤井一至 (森林総合研究所) | カナダ永久凍土の炭素蓄積量に対する凍結かく乱と排水条件の影響 |
| P02-013 | 鳥山淳平 (森林総合研究所) | アラスカ内陸部クロトウヒ林における有機物層の発達程度の空間変動とその要因 |
| P02-014 | 野口享太郎 (森林総合研究所) | アラスカ内陸部の活動層厚の異なるクロトウヒ林における細根現存量 |
| P02-015 | 田中(小田)あゆみ (森林総合研究所) | アラスカ内陸部のクロトウヒの成長と葉のδ15Nの関係 |
| P02-016 | 田中憲蔵 (森林総合研究所) | 内陸アラスカにおける広葉樹の葉の機能的形質と生活形 |
| P02-017 | 佐々木正史 (北見工業大学) | アラスカ北極圏の湖沼におけるメタンフラックスと永久凍土融解の影響 |
| P02-018 | 早坂洋史 (北海道水文気候研究所) | Recent Severe Forest Fire in Alaska and Weather Conditions |
| P02-019 | 内田雅己 (国立極地研究所) | 高緯度北極ツンドラ生態系炭素循環に及ぼす温暖化影響 |
| P02-020 | 増本翔太 (国立極地研究所) | 植物病原菌がツンドラ生態系における炭素循環に及ぼす影響 |
| P02-021 | 伊勢武史 (京都大学) | データ同化による陸域植生モデルと観測と融合 |
| P02-022 | 永井信 (海洋研究開発機構) | Accurate detection of year-to-year variability of growing season in a boreal forest in eastern Siberia |
| P02-023 | 町屋広和 (国立極地研究所/海洋研究開発機構) | 陸域観測-モデル連携: GTMP stage 1入力・検証用データセット (Kevo-Tiksi) |
| P02-024 | 森淳子 (国立極地研究所/海洋研究開発機構) | 北極陸域モデル相互比較プロジェクトGTMP stage1 -積雪・凍土・土壌水分再現性比較- |
| 研究課題3. 大気 | | |
| P03-025 | 鷹野敏明 (千葉大学) | 雲レーダー FALCON-A による北極ニーオルスンでの雲観測 |
| P03-026 | 小林拓 (山梨大学) | 雲粒子顕微鏡ゾンデによるニーオルスンでの係留気球観測 |
| P03-027 | Puna Ram Sinha (東京大学) | Measurement of refractory black carbon mass concentrations in falling and deposited snow in the Arctic |
| P03-028 | 大島和裕 (海洋研究開発機構) | シベリア三大河川における大気・陸域水循環の解明と、北極の大気-海洋-陸域相互作用研究への展望 |
| P03-029 | 相澤拓郎 (筑波大学) | Three Dimensional Structures of the Arctic Cyclones |
| P03-030 | 田村美奈 (筑波大学) | 北半球の自然変動が十年スケールの地上気温変動に及ぼす影響についての研究 |
| P03-031 | 小松謙介 (三重大学) | The moisture updrafts on the cold pool captured by the continuously radiosonde observation passing through the marginal ice zone in Laptev Sea |
| P03-032 | 安藤雄太 (三重大学) | 初冬の日本に影響を与える大気循環と周辺の海面水温の季節変化 |
| P03-033 | 川崎健太 (三重大学) | The role of the cold Okhotsk Sea in the strengthening the Pacific subtropical high and Baiu precipitation |
| P03-034 | 春山哲範 (新潟大学) | 大気における極向きエネルギー輸送に関する南北風の再評価 |
| P03-035 | 星一平 (新潟大学) | 北極域海水域変動の成層圏対流圏結合系への影響 |
| P03-036 | 中村哲 (国立極地研究所/北海道大学) | 北半球冬期気候変動の要因分析のためのHindcast実験の概要と初期解析結果 |
| P03-037 | 西井和晃 (東京大学) | オホーツク海の海水減少に対する大気応答 |
| P03-038 | 富川喜弘 (国立極地研究所) | 北極海水変動がもたらす大気への局所的な影響 ~3次元波動フラックスと3次元残差循環を用いた解析~ |
| 研究課題4. 雪氷 | | |
| P04-039 | 金尾政紀 (国立極地研究所) | Greenland Ice Sheet Dynamics and Glacial Earthquake Activities |
| P04-040 | 豊国源知 (東北大学) | グリーンランド氷床における広帯域連続地震波形記録を用いた地震波干渉法解析 |
| P04-041 | 松野智 (北海道大学) | グリーンランド北西部における氷床から海洋への融解水流出 |
| P04-042 | 榊原大貴 (北海道大学) | グリーンランド北西部における溢流水河の末端位置と流動速度の季節変化 |
| P04-043 | 大橋良彦 (北海道大学) | グリーンランド氷床北西部Thule地域沿岸における高濁度海水域の変動 |
| P04-044 | 箕輪昌紘 (北海道大学低温科学研究所) | Water properties and circulation in front of tidewater glaciers in northwestern Greenland |
| P04-045 | 箕輪昌紘 (北海道大学低温科学研究所) | Short-term variations in the dynamics of Bowdoin Glacier in northwestern Greenland |
| P04-046 | Podolskiy Evgeny (北海道大学低温科学研究所) | Seismic emissions from a tide-water calving glacier (Bowdoin Glacier, Greenland) |
| P04-047 | 的場澄人 (北海道大学低温科学研究所) | グリーンランド氷床北西部の積雪堆積環境の時空間変動 |
| P04-048 | 杉山慎 (北海道大学低温科学研究所) | グリーンランド北西部における近年の水質量損失 -GRENE グリーンランドプロジェクトの成果とARCS プロジェクトへの展望- |
| P04-049 | 竹内望 (千葉大学) | 北極圏の氷河・氷床の生物学的暗色化過程とその融解への効果 |
| P04-050 | 大沼友貴彦 (千葉大学) | グリーンランドの積雪における雪氷藻類の繁殖とそのアルベド効果のモデル化 |
| P04-051 | 田中聡太 (千葉大学) | 北極圏氷河の雪氷藻類群集の経年変動とその要因 |

| | | |
|---------|--|---|
| P04-052 | 大畑哲夫 (国立極地研究所) | 東シベリア・スタラルハヤタ山塊のNo. 31 氷河の長期変動に関する考察 |
| P04-053 | 白川龍生 (北見工業大学) | 東シベリア・スタラルハヤタ氷河における気象観測 (2012-2014) |
| P04-054 | 平沢尚彦 (国立極地研究所) | Snowfall observations at Yakutsk in East Siberia and at Poker Flat Research Range in Alaska |
| P04-055 | 杉浦幸之助 (富山大学) | 定点観測による北方林の着氷水が大気に及ぼす影響 |
| P04-056 | Nuerasimuguli Alimasi (国立極地研究所/北見工業大学) | 航空機搭載マイクロ波放射計を用いたアラスカ積雪域観測 |
| P04-057 | 永塚尚子 (国立極地研究所) | Sr-Nd 同位体比を用いた北極域の積雪中ダストの供給源推定 |
| P04-058 | 塚川佳美 (国立極地研究所) | アラスカ積雪中のブラックカーボン及び固体微粒子の空間分布 |
| P04-059 | 張勇 (国立極地研究所) | Surface mass balance of Arctic glaciers: past and future trends |
| P04-060 | 紺屋恵子 (海洋研究開発機構) | Application of a distributed surface mass balance model to ice caps in northwestern Greenland |
| P04-061 | Ralf Greve (北海道大学低温科学研究所) | グリーンランド北西部カナック地域ボードン氷河の流動に関する数値実験 |
| P04-062 | 齋藤冬樹 (海洋研究開発機構) | Structural Uncertainties in Simulated Projection of Greenland ice sheet |

研究課題5. 温室効果気体

| | | |
|---------|--|--|
| P05-063 | 伊藤昭彦 (国立環境研究所) | 将来の気候変動が北半球高緯度域の陸域炭素収支に与える影響: ISI-MIP データを用いた解析 |
| P05-064 | Shamil Maksyutov (国立環境研究所) | High-resolution CO2 flux inversion model for regional study in Siberia |
| P05-065 | Dmitry Belikov (国立極地研究所/国立環境研究所) | Simulation of CO2 and CH4 in the subarctic using coupled Eulerian-Lagrangian model |
| P05-066 | Kunchala Ravi Kumar (国立極地研究所/海洋研究開発機構) | Assessment of ACTM global model performance using CONTRAIL aircraft observations of greenhouse gases |
| P05-067 | 石島健太郎 (海洋研究開発機構) | Analysis of atmospheric methane from Siberian tower observation using chemistry transport model |
| P05-068 | 笹川基樹 (国立環境研究所) | 西シベリアにおけるタワー観測ネットワークを用いた二酸化炭素・メタンの連続測定 |
| P05-069 | 後藤大輔 (国立極地研究所) | スヴァールバル諸島ニールスンにおける酸素/窒素比および大気ポテンシャル酸素の高精度連続観測 |
| P05-070 | 吉川久幸 (北海道大学) | Variations in atmospheric CO2, CH4, CO and BC on Rishiri Island, northern Japan |
| P05-071 | 豊田栄 (東京工業大学) | 北極域における大気中N2O isotopoculeの時空間分布 |
| P05-072 | 豊田栄 (東京工業大学) | 北極域における溶解メタンおよび一酸化二窒素の濃度と isotopoculeの分布 |
| P05-073 | 遠嶋康徳 (国立環境研究所) | Atmospheric CH4 distributions observed during Arctic cruises of R/V Mirai in 2012-2015 |
| P05-074 | 安中さやか (海洋研究開発機構) | 北極海CO2フラックスの推定: 広域分布と季節・経年変化 |
| P05-075 | 石戸谷重之 (産業技術総合研究所) | 北極域における大気ポテンシャル酸素と大気海洋間酸素フラックスの船舶観測 |

研究課題6. 海洋生態系

| | | |
|---------|------------------------------|---|
| P06-076 | 中野渡拓也 (国立極地研究所/北海道大学低温科学研究所) | 北極海の海水変動予測における海洋熱の重要性 |
| P06-077 | 伊東素代 (海洋研究開発機構) | 北極海/ハロー海底谷における流量、淡水、熱輸送量の長期変動 |
| P06-078 | 西野茂人 (海洋研究開発機構) | Water mass characteristics and their temporal changes in a biological hotspot in the southern Chukchi Sea |
| P06-079 | 溝端浩平 (東京海洋大学) | Wintertime variability of the Beaufort Gyre in the Arctic Ocean derived from CryoSat-2/SIRAL observations |
| P06-080 | 漢那直也 (北海道大学低温科学研究所) | A role of sea ice melt water on iron supply to surface water in the polar and the sub-polar Ocean |
| P06-081 | 近藤能子 (長崎大学) | Transport of trace metals (Mn, Fe, Ni, Zn and Cd) in the western Arctic Ocean (Chukchi Sea and Canada Basin) in summer 2012 |
| P06-082 | 大木淳之 (北海道大学) | Distributions of volatile organic iodine compounds in the western Arctic Ocean (Chukchi Sea and Canada Basin) in summer 2012 - a possibility of production in relation to the degradation of organic matter |
| P06-083 | 内宮万里央 (国立極地研究所/東京大学大気海洋研究所) | Strong wind events resulted in enhanced bacterial production in the Chukchi Shelf, western Arctic Ocean |
| P06-084 | 夫津木亮介 (北海道大学) | 西部北極圏海域における海水中の二酸化炭素分圧に対する生物活動の寄与 |
| P06-085 | 平譚享 (北海道大学) | 北極環境変動研究: 海水減少と海洋生態系の変化 おしよる丸によるベーリング・チャクチ海観測航海報告 |
| P06-086 | 藤原周 (海洋研究開発機構) | 海水減少に対する基礎生産者の応答 |
| P06-087 | 和賀久朋 (北海道大学) | Distributional shifts in size structure of phytoplankton community |
| P06-088 | 喜多村稔 (海洋研究開発機構) | チャクチ海南部における動物プランクトン量の季節変動 |
| P06-089 | 松野孝平 (国立極地研究所/北海道大学) | Characteristics of the summer decapod larvae community through Bering and Chukchi Seas |
| P06-090 | 佐々木裕子 (国立極地研究所/北海道大学) | 北部ベーリング海およびチャクチ海における 北極海産・太平洋産カイアシ類の分布とその環境について |
| P06-091 | 河野唯 (北海道大学) | 北部ベーリング海・チャクチ海における ホッキョクダラ(Boreogadus saida) 仔魚の分布と海洋環境との関係 |
| P06-092 | 西沢文吾 (北海道大学) | 海洋生態系のカギ種と汚染を海鳥から探る |
| P06-093 | 西沢文吾 (北海道大学) | ベーリング海北部およびチャクチ海におけるホッキョクダラの食性と栄養状態 |
| P06-094 | 國分瓦彦 (国立極地研究所) | ベーリング海の水温構造とハシトウミガラスの採餌行動の年変動 |
| P06-095 | 佐藤信彦 (総合研究大学院大学) | The jellyfish buffet: jellyfish enhance seabird foraging opportunities by concentrating prey |
| P06-096 | 渡邊英嗣 (海洋研究開発機構) | Arctic NEMUROモデルの開発と海水域生態系研究への応用 |

研究課題7. 海水・北極海航路

| | | |
|---------|---|--|
| P07-097 | 小野純 (海洋研究開発機構) | Prediction System for the Pan-Arctic sea ice with the MIROC Climate Model |
| P07-098 | Waruna Arampath De Silva (国立極地研究所/東京大学) | Short-term sea ice prediction for ice navigation in the Arctic sea routes using TIGGE data |
| P07-099 | 柏瀬陽彦 (国立極地研究所/北海道大学低温科学研究所) | 季節海水域化する北極海における海水-海洋アルベドフィードバック効果 |
| P07-100 | 川崎高雄 (国立極地研究所/東京大学大気海洋研究所) | 北極海への大西洋水流入のモデリング研究 |
| P07-101 | 澤村淳司 (大阪大学) | 氷海船舶の氷荷重推定と構造・運動性能評価に関する研究 |
| P07-102 | 尾関俊浩 (北海道教育大学) | 船体着氷の成長指標と着氷対策の検討 |
| P07-103 | 嶋原達也 (工学院大学) | 船舶と単独氷塊との衝突に関する安全性評価手法の検討 |
| P07-104 | 高木敏幸 (釧路工業高等専門学校) | 船舶レーダ画像を用いた砕氷船の能力に応じた航路選択 |
| P07-105 | 佐川玄輝 (株式会社ウエザーニューズ) | 北極海航路に求められる海水情報の現在と展望 |
| P07-106 | 今井克哉 (東京大学) | 北極海航路における最適航路探索に関する研究 |
| P07-107 | 大塚夏彦 (北日本港湾コンサルタント株式会社) | 北極海航路における氷海航行と経済合理性 |

8. 北極域データアーカイブ(ADS)

| | | |
|---------|----------------|--|
| PADS-01 | 照井健志 (国立極地研究所) | 極域を対象とした衛星データ可視化Webサービスの開発と解析 |
| PADS-02 | 杉村剛 (国立極地研究所) | データ特性の視覚化を目的としたオンライン可視化アプリケーションVISIONの開発 |

参加者へのご案内

◆ 事前登録

本報告会は事前登録制です。報告会ウェブページからご登録をお願いします。

◆ 講演予稿集

報告会ウェブページから PDF ダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.nipr.ac.jp/grene/20160303symposium/program.html>

◆ 当日の受付

会場にお越しになりましたら、まず受付をして下さい。

会場にはクロークがありません。お手荷物は各自保管して下さい。

【お持ち頂くもの】

1. 参加章（申込時の自動返信メールを印刷）
2. 懇親会費（該当の方）
3. フライト領収書・半券（該当の方）

【受取るもの】

1. 名札
2. プログラム、
3. ポスター配置図・ネットワーク情報

◆ 無線 LAN

別紙配布する SSID/Password をご利用下さい。

◆ 昼食

- ・ ランチマップを参考に、各自ご用意ください(お弁当購入・近隣レストラン)。
- ・ 国語研の1階、極地研1階でもお弁当の販売があります。
数に限りがありますのでご了解ください。
- ・ 飲食可エリアは、2F 講堂、2F 多目的室、2F ホワイエ、1F ホワイエです。

◆ 懇親会

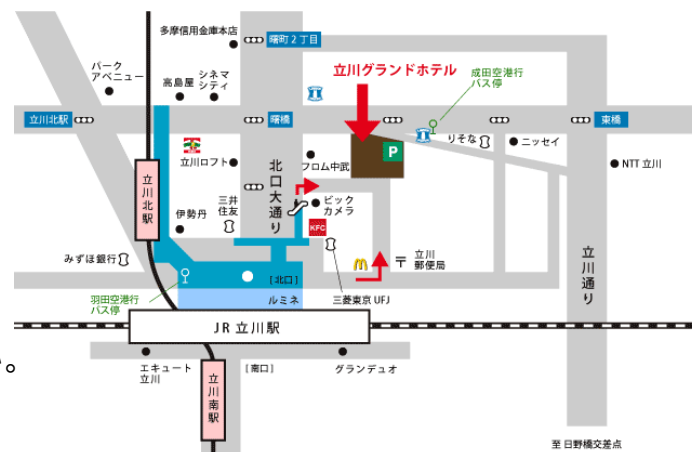
日時 3月4日(金) 18:00~20:00

場所 立川グランドホテル 4F カルロの間
(立川駅北口徒歩2分)

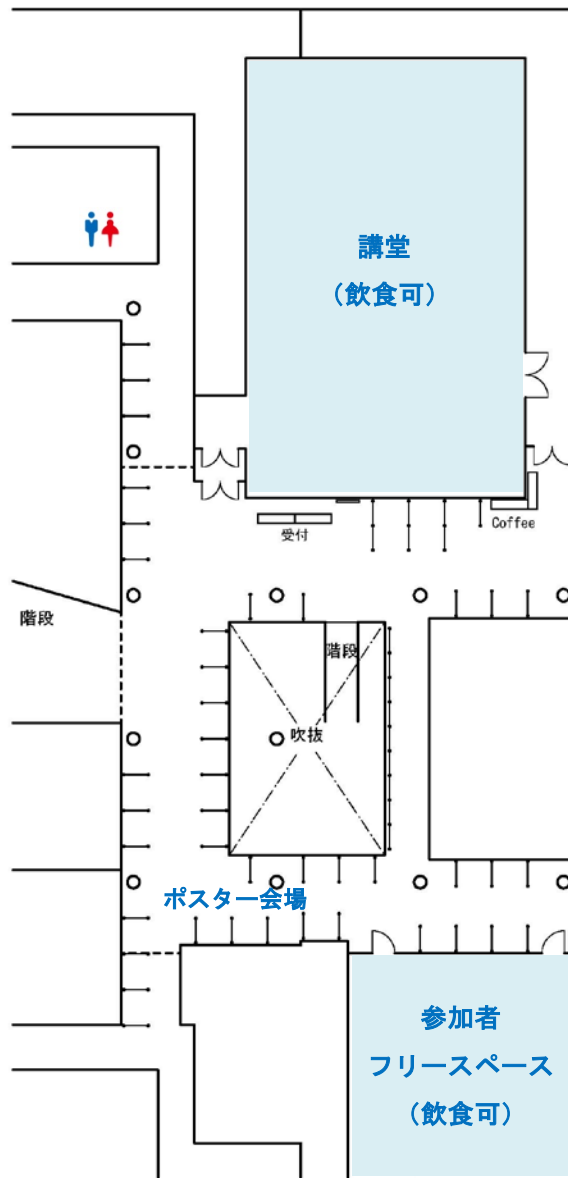
会費 一般 3,000円 学生 2,000円

※ 各自移動をお願いします。

※ 当日受付もできますが、
懇親会費は早めに受付でお支払い下さい。



2F フロアマップ



A 【里里(りんりん): 各種お弁当】
1F 正面玄関 11:00~13:00
★500円~600円

B 【ハイジ: カレー弁当】
1F 正面玄関 11:00~13:00
★500円

C 【瑞京: 中華弁当】
1F 南口 11:00~13:00
★500円

D 【ハローランチ: 各種お弁当】
1F 南口 11:00~13:00
★300円~500円

E 【立川市役所 食堂】 徒歩3分
市役所内 3F 11:00~15:00
★各種ランチ、400円~500円

F 【Café ハーモニー】 徒歩3分
市役所内 1F 10:00~16:00
★トースト300円・ピラフ(サラダ付)600円他

G 【東京地方裁判所 食堂】 徒歩3分
裁判所内 B1 08:00~20:00
★400~700円

H 【中華料理 瑞京】 徒歩8分
TEL: 042-527-8729
11:00~14:30 / 17:00~23:00
★本格中華をお楽しみ頂けます。

テイクアウト

レストラン



発表者へのご案内

◆ 口頭発表

- プログラムにてご自分の発表日時を確認して下さい。
発表時間は次の通りです。

研究課題 発表 12 分、質疑 3 分

戦略研究目標 発表 20 分、質疑 10 分

- 発表はご自分の PC をご用意のうえ、Dsub15 ピンの出力端子から会場プロジェクタへの接続をお願いします。
- ご自分の前の番になったら、座長となりの待機席に来て接続のスタンバイをして下さい。
- 発表言語・スライドの表記は、日本語・英語どちらでも構いません。

◆ ポスター発表

Set up 3 月 4 日 14:00 まで

Core time1 14:30~15:05 (ポスター奇数番号)

Core time2 15:05~15:40 (ポスター偶数番号)

終了 16:30

Removal 16:45 まで

- ポスター配置図は、受付にて配布しています。
- プログラムにてご自分のポスター番号とコアタイムを確認して下さい。
- 全てのポスターを 2 日間通しで掲示できます。
- 事務局にてポスターボードとピンを用意します。
- ポスターサイズは A0 (縦横どちらでも可) をお願いします。
- 言語表記は、日本語・英語どちらでも構いません。

－ 詳細プログラム －

- 3月3日 口頭発表
- 3月4日 口頭発表
- 3月4日 ポスター発表

口頭発表 1日目

日時 2016年3月3日(木)10:00-17:30
 会場 国立国語研究所 2F講堂

| | | |
|--------------------------------------|--|--|
| 10:00-10:05 | ごあいさつ | 白石和行(国立極地研究所長) |
| 10:05 - 10:15 | 事業概要の報告-5年間の取り組みについて Summary report of the 5-year Project | プロジェクト・マネージャー 山内恭(極地研/総研大) サブ・プロジェクト・マネージャー 深澤理郎(JAMSTEC/極地研) Takashi Yamanouchi (Project Manager, NIPR/SOKENDAI) Masao Fukasawa (Sub Project Manager, JAMSTEC/NIPR) |
| <各研究課題からの成果発表> | | |
| 陸域 座長: 杉本敦子(北大) | | |
| 10:15-10:30 | 北極気候変動にともなう東シベリア陸域環境の変化 Terrestrial environmental change in eastern Siberia in relation to Arctic climate change | 飯島慈裕(JAMSTEC)、朴昊澤(JAMSTEC)、Alexander N. Fedorov(SB RAS) Yoshihiro Iijima (JAMSTEC), Hotaek Park (JAMSTEC), Alexander N. Fedorov (SB RAS) |
| 10:30-10:45 | 周極域亜寒帯林の現存量・構造変化の歴史と気候変動に対する反応 | 大澤晃(京都大)、藤井創一朗(京都大)、芳賀祐馬(京都大)、安江恒(信州大)、松浦陽次郎(森林総研)、藤井一至(森林総研)、梶本卓也(森林総研)、森下智陽(森林総研)、田村行宏(京都大)、Juha Metsaranta(NFRFC)、Leena Finer(LUKE-Joesnuu)、Raisa Makipaa(LUKE-Vantaa)、Jukka Pumpanen(ヘルシンキ大)、Shinya Sugita(タリン大/京都大)、Margus Pensa(タリン大)、Olga Zyryanova(SIF SB RAS)、Anatoly Prokushkin(SIF SB RAS)、Mouctar Kamara(京都大) |
| 10:45-11:00 | Past and possible future tree growth over circumpolar forest ecosystems deduced from tree-ring width, delta-13C and a DGVM | Shunsuke Tei (Hokkaido U./NIPR), Atsuko Sugimoto (Hokkaido U), Liang Maochang (Yangtze U.), Yojiro Matsuura (FFPRI), Akira Osawa (Kyoto U.), Hitoshi Yonenobu (Naruto Univ. of Education), Hisashi Sato (JAMSTEC), Ayumi Kotani (Nagoya U.), Shin Nagai (JAMSTEC), Trofim Maximov (IBPC/North-Eastern Federal U.) |
| 11:00-11:15 | モデル-観測連携GTMIP の成果と将来に向けて Outcomes of and outlook from the Modeling-Field Collaboration GTMIP | 斉藤和之(JAMSTEC)、森淳子(極地研/JAMSTEC)、宮崎真(ソニック(株))、町屋広和(極地研/JAMSTEC)、山崎剛(東北大)、伊勢武史(京都大)、末吉哲雄(極地研)、GTMIP グループ Kazuyuki Saito (JAMSTEC), Junko Mori (NIPR/JAMSTEC), Shin Miyazaki (SONIC (Inc.)), Hirokazu Machiya (NIPR/JAMSTEC), Takeshi Yamazaki (Tohoku U.), Takeshi Ise (Kyoto U.), Tetsuo Sueyoshi (NIPR), The GTMIP group |
| 温室効果気体 座長: 青木周司(東北大) | | |
| 11:15-11:30 | スバルバル諸島ニーオルスン及びカナダ・チャーチルにおける大気中の温室効果気体および関連気体の変動 Temporal variations of atmospheric greenhouse gases and related constituents in Ny-Ålesund, Svalbard and Churchill, Canada | 森本真司(東北大)、後藤大輔(極地研)、村山昌平(産総研)、石戸谷重之(産総研)、藤田遼(東北大)、石島健太郎(JAMSTEC)、P.K.Patra(JAMSTEC)、青木周司(東北大) S. Morimoto (Tohoku U.), D. Goto (NIPR), S. Murayama (AIST), S. Ishidoya (AIST), R. Fujita (Tohoku U.), K. Ishijima (JAMSTEC), P.K.Patra (JAMSTEC), S. Aoki (Tohoku U.) |
| 11:30-11:45 | チャクチ海とカナダ海盆域における海洋表層の二酸化炭素とメタンの分布及び変動要因 Variability of carbon dioxide and methane in surface layer of the Chukchi Sea and Canada Basin | 石井雅男(気象研)、笹野大輔(気象研)、小杉如央(気象研)、石戸谷重之(産総研)、遠嶋康徳(環境研)、安中さやか(JAMSTEC)、内田裕(JAMSTEC)、村田昌彦(JAMSTEC)、西野茂人(JAMSTEC)、菊地隆(JAMSTEC)、工藤久志(東工大)、豊田栄(東工大)、亀山宗彦(北大)、吉川久幸(北大) Masao Ishii (MRI), Daisuke Sasano (MRI), Naohiro Kosugi (MRI), Shigeyuki Ishidoya (AIST), Yasunori Tohjima (NIES), Hiroshi Uchida (JAMSTEC), Sayaka Yasunaka (JAMSTEC), Akihiko Murata (JAMSTEC), Shigeto Nishino (JAMSTEC), Takashi Kikuchi (JAMSTEC), Kushi Kudo (Tokyo Tech), Sakae Toyoda (Tokyo Tech), Sohiko Kameyama (Hokkaido U.), Hisayuki Y. Inoue (Hokkaido U.) |
| 11:45-12:00 | 北極域上空における温室効果気体の変動 | 町田敏暢(環境研)、澤庸介(気象研)、松枝秀和(気象研)、丹羽洋介(気象研)、坪井一寛(気象研)、勝又啓一(環境研)、笹川基樹(環境研)、村山昌平(産総研)、森本真司(東北大)、豊田栄(東工大)、青木周司(東北大) |
| 12:00-12:15 | Modelling of greenhouse gases and related species in the Arctic environment | P. K. Patra (JAMSTEC), T. Saeki (JAMSTEC), K. Ishijima (JAMSTEC), K. Ravi Kumar (NIPR/JAMSTEC), S. Taguchi (AIST), D. Belikov (NIPR/NIES), S. Makyutov (NIES), Y. Niwa (MRI), T. Maki (MRI), D. Goto (NIPR), Y. Tohjima (NIES), S. Ishidoya (AIST), S. Morimoto (Tohoku U.), S. Aoki (Tohoku U.), K. Takata (NIPR/NIES) |
| 12:15-13:15 | 昼食 (60分) | |

| | |
|-----------------------|--|
| データアーカイブ 座長:榎本浩之(極地研) | |
| 13:15-13:30 | 北極域データアーカイブの開発と課題 矢吹裕伯(極地研/JAMSTEC)、杉村 剛(極地研)、照井健志(極地研) |
| 雪氷 座長:榎本浩之(極地研) | |
| 13:30-13:45 | 北極圏の水河群変動と気候影響 Glacier Change in the Arctic and Connection to Climate 榎本浩之(極地研/総研大)、張勇(極地研)、大畑哲夫(極地研)、門田勤(JAMSTEC)、白川龍生(北見工大)、杉山慎(北大) Hiroyuki Enomoto (NIPR/SOKENDAI), Yong Zhang (NIPR), Tetsuo Ohata (NIPR), Tsutomu Kadota (JAMSTEC), Tatsuo Shirakawa (Kitami Inst. Tech.), Shin Sugiyama (Hokkaido U.) |
| 13:45-14:00 | グリーンランド北西部における溢流水河の質量減少 Ice mass loss from outlet glaciers in northwestern Greenland 津滝俊(極地研/低温研)、杉山慎(低温研)、片山直紀(北大)、榎原大貴(北大)、澤柿教伸(法政大) Shun Tsutaki (NIPR/ILTS), Shin Sugiyama (ILTS), Naoki Katayama (Hokkaido U.), Daiki Sakakibara (Hokkaido U.), Takanobu Sawagaki (Hosei U.) |
| 14:00-14:15 | 北極域の広域積雪観測と気候影響 堀 雅(JAXA/EORC)、杉浦幸之助(富山大)、谷川朋範(気象研)、青木輝夫(気象研)、朽木勝幸(気象研)、庭野匡思(気象研)、榎本浩之(極地研/総研大)、佐藤篤司(防災科研) |
| 14:15-14:30 | 北極域積雪中のブラックカーボン及びダストに関する研究 Studies on black carbon and dust in the Arctic snow 東久美子(極地研/総研大)、塚川佳美(極地研)、近藤豊(極地研)、杉浦幸之助(富山大)、永塚尚子(極地研)、大畑祥(東大)、森樹大(東大)、茂木信宏(東大)、小池真(東大)、平林幹啓(極地研)、Remi Dallmayr(極地研)、榎本浩之(極地研/総研大) Kumiko Goto-Azuma (NIPR/SOKENDAI), Yoshimi Ogawa-Tsukagawa (NIPR), Konosuke Sugiura (U. Toyama), Naoko Nagataska (NIPR), Sho Ohata4, Tasuhiro Mori (U. Tokyo), Nobuhiro Moteki (U. Tokyo), Makoto Koike (U. Tokyo), Motohiro Hirabayashi (NIPR), Remi Dallmayr (NIPR) and Hiroyuki Enomoto (NIPR/SOKENDAI) |
| 14:30-14:45 | 休憩 (15分) |
| 大気 座長:浮田甚郎(新潟大) | |
| 14:45-15:00 | 北極気候に関わるブラックカーボン・エアロゾルと雲微物理量 Black carbon aerosols and cloud microphysics in the Arctic 小池真(東大/極地研)、近藤豊(極地研)、P.R.Sinha(東大)、大畑祥(東大)、茂木信宏(東大)、東久美子(極地研)、大島長(気象研)、松井仁志(名古屋大)、塩原匡貴(極地研)、小林拓(山梨大)、浮田甚郎(新潟大) M. Koike (U. Tokyo/NIPR), Y. Kondo (NIPR), P.R.Sinha (U. Tokyo), S. Ohata (U. Tokyo), N. Moteki (U. Tokyo), K. Goto-Azuma (NIPR), N. Oshima (MRI), H. Matsui (Nagoya U.), M. Shiobara (NIPR), H. Kobayashi (Yamanashi U.), and J. Ukita (Niigata U.) |
| 15:00-15:15 | 北極域の雲と特性と海水相互作用研究 Study of interaction between Arctic cloud properties and sea-ice 岡本 創(九州大)、佐藤可織(九州大)、田中健太(九州大)、浮田甚郎(新潟大)、岩本勉之(新潟大)、塩原匡貴(極地研)、矢吹正教(京都市大)、鷹野敏明(千葉大)、小池 真(東大) Hajime Okamoto (Kyushu U.), Kaori Sato (Kyushu U.), Kenta Tanaka (Kyushu U.), Jinro Ukita (Niigata U.), Katsushi Iwamoto (Niigata U.), Masataka Shiobar (NIPR), Masanori Yabuki (Kyoto U.), Toshiaki Takano (Chiba U.), Makoto Koike (U. Tokyo) |
| 15:15-15:30 | 北極域の海水減少が中緯度に及ぼす影響と対流圏-成層圏結合 Impact of Arctic sea-ice decline on mid-latitude climate and troposphere-stratosphere coupling 山崎孝治(極地研/北大)、中村哲(極地研/北大)、浮田甚郎(新潟大)、岩本勉之(極地研/新潟大/紋別市役所)、本田明治(新潟大)、三好勉信(九州大)、小川泰信(極地研/総研大)、富川喜弘(極地研/総研大) Koji Yamazaki (NIPR/Hokkaido U.), Tetsu Nakamura (NIPR/Hokkaido U.), Jinro Ukita (Niigata U.), Katsushi Iwamoto (NIPR/Niigata U./Mombetsu City), Meiji Honda (Niigata U.), Yasunobu Miyoshi (Kyushu U.), Yasunobu Ogawa (NIPR/SOKENDAI), and Yoshihiro Tomikawa (NIPR/SOKENDAI) |
| モデル 座長:野沢徹(岡山大) | |
| 15:30-15:45 | 雪氷新過程導入によるGCM地表気温バイアスの改善 The improvement of GCM land surface temperature bias by the introduction of new snow processes 大石龍太(極地研/東大大気海洋研)、新田友子(東大大気海洋研)、末吉哲男(極地研)、高田久美子(極地研/環境研)、芳村圭(東大大気海洋研)、阿部彩子(東大大気海洋研/JAMSTEC)、G. E. Liston (コロラド州立大) Ryouta O'ishi (NIPR/AORI), Tomoko Nitta (AORI), Tetsuo Sueyoshi (NIPR), Kumiko Takata (NIPR/NIES), Kei Yoshimura (AORI), Ayako Abe-Ouchi (AORI/JAMSTEC) and G. E. Liston (Colorado State U.) |
| 15:45-16:00 | CMIP5 気候モデルにおける夏季北ユーラシアの降水再現性 Reproducibility of summer precipitation over northern Eurasia in CMIP5 multi-climate models 廣田 浩太郎(極地研/東大大気海洋研)、高藪縁(東大大気海洋研)、濱田篤(東大大気海洋研) Nagio Hirota (NIPR/AORI), Yukari N. Takayabu (AORI) and Atsushi Hamada (AORI) |
| 16:00-16:15 | Seasonal evolution of surface temperature changes over the Arctic Ocean under global warming in CMIP5 models Alexandre Laîné (NIPR/AORI), Masakazu Yoshimori (Hokkaido U./AORI), Ayako Abe-Ouchi (AORI/NIPR/JAMSTEC) |
| 16:15-16:30 | 休憩 (15分) |

| 海水・北極海航路 座長: 島田浩二(海洋大) | | |
|------------------------|--|--|
| 16:30-16:45 | 北極海水海洋のモデリングと予測システム | 羽角博康(東大大気海洋研) |
| 16:45-17:00 | 衛星データを用いた北極海の海水中期予測 | 木村詞明(極地研/東大)、山口一(東大) |
| 17:00-17:15 | Estimation of mechanical increase in sea ice thickness due to sea ice rafting using AMSR-E and AMSR2 derived sea ice velocity data | Eri Yoshizawa (TUMSAT)、Koji Shimada (TUMSAT) |
| 17:15-17:30 | アラスカ沖バロー沿岸ポリニヤに関する観測・衛星・モデル融合研究 A wind-driven, hybrid latent and sensible heat coastal polynya off Barrow, Alaska | 平野大輔(極地研)、深町康(低温研)、渡邊英嗣(JAMSTEC)、大島慶一郎(低温研)、岩本勉之(紋別市役所)、Andrew Mahoney(UAF)、Hajo Eicken(UAF)、清水大輔(極地研)、田村岳史(極地研) Daisuke Hirano (NIPR), Yasushi Fukamachi (ILTS), Eiji Watanabe (JAMSTEC), Kay I. Ohshima (ILTS), Katsushi Iwamoto (Mombetsu City), Andrew Mahoney (UAF), Hajo Eicken (UAF), Daisuke Simizu (NIPR), and Takeshi Tamura (NIPR) |
| 17:30 | 1日目終了 | |

口頭発表 2日目

日時 2016年3月4日(金)9:30-14:30
 会場 国立国語研究所 2F講堂

<各研究課題からの成果発表> (前日のつづき)

| | | |
|------------------------|---|---|
| 海水・北極海航路 座長: 島田浩二(海洋大) | | |
| 09:30-09:45 | 北極海航路上の海水厚モニタリング技術の開発 Development of monitoring technique for sea ice thickness along the Arctic sea route | 館山一孝(北見工大)、田中康弘(北見工大)、星野聖太(北見工大)、徳留泰行(北見工大) Kazutaka Tateyama (Kitami Inst. Tech.), Yasuhiro Tanaka (Kitami Inst. Tech.), Seia Hoshino (Kitami Inst. Tech.) and Yasuyuki Tokudome (Kitami Inst. Tech.) |
| 海洋生態系 座長: 菊地隆(JAMSTEC) | | |
| 09:45-10:00 | チャクチ海における海洋酸性化: 底層における長期の炭酸カルシウム未飽和 | 川合美千代(海洋大)、三船尊久(海洋大)、菊地隆(JAMSTEC) |
| 10:00-10:15 | 海水減少に対する基礎生産者の応答 | 藤原 周(JAMSTEC)、平譯 享(北大)、鈴木 光次(北大)、Lisa Eisner (NOAA)、西野 茂人(JAMSTEC)、菊地 隆(JAMSTEC)、今井 一郎(北大)、齊藤 誠一(北大) |
| 10:15-10:30 | 北極海に輸送された太平洋産プランクトンの運命 Fate of transported Pacific plankton in the Arctic Ocean | 松野孝平(極地研/北大)、山口 篤(北大)、菊地 隆(JAMSTEC) Kohei Matsuno (NIPR/Hokkaido U.), Atsushi Yamaguchi (Hokkaido U.), Takashi Kikuchi (JAMSTEC) |
| 10:30-10:40 | 休憩 (10分) | |

<各戦略研究目標からの成果発表> 座長: 高田久美子(極地研/環境研)

| | | |
|-------------|--|---|
| 10:40-11:10 | 北極域における温暖化増幅メカニズムの解明 | 野沢 徹(岡山大)、杉本敦子(北大)、浮田甚郎(新潟大)、榎本浩之(極地研)、青木周司(東北大)、高田久美子(極地研/環境研) |
| 11:10-11:40 | 全球の気候変動及び将来予測における北極域の役割の解明 | 杉本敦子(北大)、野沢徹(岡山大)、浮田甚郎(新潟大)、榎本浩之(極地研)、青木周司(東北大)、高田久美子(極地研/環境研) |
| 11:40-12:10 | 北極-中緯度気候リンクの理解に向けて Towards understanding of the Arctic-mid-latitudes climate linkage | 浮田甚郎(新潟大) Jinro Ukita (Niigata U.) |
| 12:10-13:10 | 昼食 (60分) | |
| 13:10-13:40 | 北極海環境変動研究: 海水減少と海洋生態系の変化 Ecosystem Studies of the Arctic Ocean with declining Sea ice (ECOARCS) | 菊地 隆(JAMSTEC)、GRENE北極 研究課題Gの研究者 Takashi Kikuchi (JAMSTEC), and members of GRENE/Arctic research project No.6 |
| 13:40-14:10 | 北極海航路の利用可能性評価につながる海水分布の将来予測 | 島田浩二(海洋大)、山口一(東大)、羽角博康(東大気海洋研) |

<総括-成果のまとめ>

| | | |
|-------|---|--|
| 14:10 | GRENE 北極事業における5年間の成果 Outcomes from the 5-year GRENE Arctic Climate Change Research Project | 山内恭(プロジェクト・マネージャー)(極地研/総研大)、高田久美子(コーディネーター)(極地研/環境研/JAMSTEC) Takashi Yamanouchi (Project Manager) (NIPR/SOKENDAI) and Kumiko Takata (Coordinator) (NIPR/NIES/JAMSTEC) |
| 14:30 | 2日目口頭発表 終了 | |

ポスター発表

日時 2016年3月4日(金) 14:30-16:30
 (Core time 14:30-15:40)
 会場 国立国語研究所 2Fホワイエ

Set up 3月4日 14:00まで
 Core time1 14:30~15:05 (ポスター奇数番号)
 Core time2 15:05~15:40 (ポスター偶数番号)
 ポスター終了 16:30
 Removal 16:45まで

研究課題1. モデル

| | | |
|---------|--|--|
| P01-001 | 陸面モデルHAL における氷床域の取り扱いの改善 Improvement of the soil/ice submodels over icesheet regions in a landsurface model HAL | 保坂征宏(気象研) Masahiro Hosaka (MRI) |
| P01-002 | トップダウン法とボトムアップ法によるCO ₂ フラックス推定値の比較 - シベリア・ヤクーツクでの試み - Comparison of carbon fluxes estimated by top-down and bottom-up methods -- a case study at Yakutsk, Siberia -- | 高田久美子(極地研/環境研/JAMSTEC)、Prabir Patra (JAMSTEC)、Dmitry Belikov(極地研/環境研)、小谷亜由美(気象研)、森淳子(極地研/JAMSTEC)、GTMP グループ、佐伯田(JAMSTEC)、丹羽洋介(MRI)、斉藤和之(JAMSTEC)、太田岳史(名古屋大)、Shamir Maksyutov(環境研)、町田敏暢(環境研)、A. Ganshin(トムスク大/CAO)、R. Zhuravlev(トムスク大/CAO)、杉本敦子(北大)、青木周司(東北大) Kumiko Takata (NIPR/NIES/JAMSTEC), Prabir Patra (JAMSTEC), Dmitry Belikov (NIPR/NIES), Ayumi Kotani (MRI), Junko Mori (NIPR/JAMSTEC), GTMIP group, Tazu Saeki (JAMSTEC), Yosuke Niwa (MRI), Kazuyuki Saito (JAMSTEC), Takeshi Ohta (Nagoya U.), Shamil Maksyutov (NIES), Toshinobu Machida (NIES), A. Ganshin (Tomsk State U./CAO), R. Zhuravlev (Tomsk State U./CAO), Atsuko Sugimoto (Hokkaido U.), and Shuji Aoki (Tohoku U.) |
| P01-003 | 将来予測における北極域温暖化増幅の季節性と大きさを決める支配的要因 Dominant factors that determine seasonality and magnitude of Arctic warming amplification in the future projections | 吉森正和(北大)、Alexandre Laîné(極地研/東大気海洋研)、阿部彩子(東大気海洋研) Masakazu Yoshimori (Hokkaido U.), Alexandre Laîné (NIPR/AORI) and Ayako Abe-Ouchi (AORI) |

研究課題2. 陸域

| | | |
|---------|--|---|
| P02-004 | 東シベリアインディギルカ川低地における積雪空間分布 Spatial variation of snow cover in Indigirka lowland observed in spring 2014/2015 | 鷹野真也(北大)、鄭峻介(極地研/北大)、杉本敦子(北大)、ローマン・ベトロフ(IBPC/NEFU)、トロフィーム・C・マキシモフ(IBPC/NEFU) Shinya Takano (Hokkaido U.), Shunsuke Tei (NIPR/Hokkaido U.), Atsuko Sugimoto (Hokkaido U.), Roman Petrov (IBPC/NEFU), Trofim C. Maximov (IBPC/NEFU) |
| P02-005 | 東シベリアインディギルカ川低地における CH ₄ 放出フラックスの年々変動とδ ¹³ C-, δD-CH ₄ から見たプロセス Inter-annual variation in CH ₄ efflux and its underlying processes with reference to δ ¹³ C-, δD-CH ₄ at the Lowland of Indigirka River in Northeastern Siberia | 新宮原諒(北大)、杉本敦子(北大)、村瀬潤(名古屋大)、鄭峻介(極地研/北大)、鷹野真也(北大)、両角友喜(北大)、梁茂厂(北大)、岩花剛(北大)、トロフィーム・C・マキシモフ(IBPC/NEFU) Ryo Shingubara (Hokkaido U.), Atsuko Sugimoto (Hokkaido U.), Jun Murase (Nagoya U.), Shunsuke Tei (NIPR/Hokkaido U.), Shinya Takano (Hokkaido U.), Tomoki Morozumi (Hokkaido U.), Maochang Liang (Hokkaido U.), Go Iwahana (Hokkaido U.) and Trofim C. Maximov (IBPC/NEFU) |
| P02-006 | Ecology of willow in the Arctic for reconstruction of Indigirka river condition and its tributaries | Rong FAN (Hokkaido U.), Shinya Takano (Hokkaido U.), Tomoki MOROZUMI (Hokkaido U.), Ryo SHINGUBARA (Hokkaido U.), Shunsuke Tei (NIPR/Hokkaido U.), Trofim C. MAXIMOV (IBPC/NEFU) and Atsuko Sugimoto (Hokkaido U.) |
| P02-007 | タイガ-ツンドラ境界の GRENE-TEA 観測サイトの高解像度植生図作成とメタン放出量推定 High resolution vegetation mapping for GRENE-TEA observation sites and Estimation of CH ₄ emission in Taiga-Tundra boundary | 両角友喜(北大)、新宮原諒(北大)、ファンロン(北大)、鷹野真也(北大)、鄭峻介(極地研/北大)、マキシモフトロフィム(IBPC)、小林秀樹(JAMSTEC)、鈴木力英(JAMSTEC)、杉本敦子(北大) Tomoki Morozumi (Hokkaido U.), Ryo Shingubara (Hokkaido U.), Rong Fan (Hokkaido U.), Shinya Takano (Hokkaido U.), Shunsuke Tei (NIPR/Hokkaido U.), Trofim C. Maximov (IBPC), Hideki Kobayashi (JAMSTEC), Rikie Suzuki (JAMSTEC) and Atsuko Sugimoto (Hokkaido U.) |
| P02-008 | 北東シベリアタイガ-ツンドラ境界域湿地土壌のメタン酸化ポテンシャル Methane Oxidation Potential of Arctic Wetland Soil of a Taiga-Tundra Ecotone in Northeastern Siberia | 村瀬潤(名古屋大)、杉本敦子(北大)、新宮原諒(北大)、トロフィーム・C・マキシモフ(IBPC/NEFU) Jun Murase (Nagoya U.), Atsuko Sugimoto (Hokkaido U.), Ryo Shingubara (Hokkaido U.), Trofim C. Maximov (IBPC/NEFU) |
| P02-009 | 東シベリアカラマツ林でのフラックス観測と湿潤イベントへのカラマツ林の応答 | 小谷亜由美(名古屋大)、太田岳史(名古屋大)、T.C.Maximov (IBPC) |
| P02-010 | 周極域の森林土壌特性の地域間比較 Comparative study on forest soil properties among circumpolar regions | 松浦陽次郎(森林総研)、小野賢二(森林総研)、野口享太郎(森林総研)、藤井一至(森林総研)、牧田直樹(森林総研)、森下智陽(森林総研)、鳥山淳平(森林総研) Yojiro Matsuura (FFPRI), Kenji Ono (FFPRI), Kazumichi Fujii (FFPRI), Kyotaro Noguchi (FFPRI), Naoki Makita (FFPRI), Tomoaki Morishita (FFPRI), Jumpei Toriyama (FFPRI) |

| | | |
|---------|--|--|
| P02-011 | 周極域の森林におけるイワダレゴケの分布と成長速度 Distribution and growth rate of <i>Hylocomium splendens</i> on forest floor in circumpolar regions | 森下智陽(森林総研)、松浦陽次郎(森林総研)、大澤晃(京都大)、梶本卓也(森林総研)、野口享太郎(森林総研)、Kim Yongwon(アラスカ大)、Zyryanova OA(スカチエフ森林研究所)、Prokushkin AS(アラスカ大) Tomoaki Morishita (FFPRI), Yojiro Matsuura (FFPRI), Akira Osawa (Kyoto U.), Takuya Kajimoto (FFPRI), Kyotaro Noguchi (FFPRI), Yongwon Kim (UAF), Olga A Zyryanova (SIF) and Anatoly S Prokushkin (UAF) |
| P02-012 | カナダ永久凍土の炭素蓄積量に対する凍結かく乱と排水条件の影響 Effects of cryoturbation and drainage on organic matter storage in Canadian permafrost soil | 藤井一至(森林総研)、松浦陽次郎(森林総研)、安江恒(信州大)、大澤晃(京都大) Kazumichi Fujii (FFPRI), Yojiro Matsuura (FFPRI), Koh Yasue (Shinshu U.), Akira Osawa (Kyoto U.) |
| P02-013 | アラスカ内陸部クロトウヒ林における有機物層の発達程度の空間変動とその要因 Spatial variation in development of organic layer and its controlling factor under black spruce stands in Interior Alaska | 鳥山淳平(森林総研)、田中(小田)あゆみ(森林総研)、森下智陽(森林総研)、松浦陽次郎(森林総研) Jumpei Toriyama (FFPRI), Ayumi Tanaka-Oda (FFPRI), Tomoaki Morishita (FFPRI) and Yojiro Matsuura (FFPRI) |
| P02-014 | アラスカ内陸部の活動層厚の異なるクロトウヒ林における細根現存量 Fine root biomass in two black spruce stands with different active layer depths in interior Alaska | 野口享太郎(森林総研)、松浦陽次郎(森林総研)、Stephen D. Sparrow(アラスカ大)、Larry D. Hinzman(アラスカ大) Kyotaro Noguchi (FFPRI), Yojiro Matsuura (FFPRI), Stephen D. Sparrow (UAF) and Larry D. Hinzman (UAF) |
| P02-015 | アラスカ内陸部のクロトウヒの成長と葉の $\delta^{15}\text{N}$ の関係 Relationship between tree growth and leaf $\delta^{15}\text{N}$ values of black spruce in Interior Alaska | 田中(小田)あゆみ(森林総研)、田中憲蔵(森林総研)、鳥山淳平(森林総研)、野口享太郎(森林総研)、松浦陽次郎(森林総研) Ayumi Tanaka-Oda (FFPRI), Tanaka Kenzo (FFPRI), Jumpei Toriyama (FFPRI), Kyotaro Noguchi (FFPRI) and Yojiro Matsuura (FFPRI) |
| P02-016 | 内陸アラスカにおける広葉樹の葉の機能的形質と生活形 Leaf functional traits of different life forms of various roadleaf woody plants in the Alaskan interior | 田中憲蔵(森林総研)、田中(小田)あゆみ(森林総研)、松浦陽次郎(森林総研)、Larry D. Hinzman(アラスカ大) Tanaka Kenzo (FFPRI), Ayumi Tanaka-Oda (FFPRI), Yojiro Matsuura (FFPRI) and Larry D. Hinzman (UAF) |
| P02-017 | アラスカ北極圏の湖沼におけるメタンフラックスと永久凍土融解の影響 Effect of the thawing permafrost on methane flux from lakes in the Alaskan Arctic Zone | 佐々木正史(北見工大)、内田昌男(環境研)、近藤美由紀(環境研)、内海真生(筑波大)、米村正一郎(農環研)、中山恵介(神戸大) |
| P02-018 | Recent Severe Forest Fire in Alaska and Weather Conditions | Hiroshi Hayasaka (NPO Hokkaido Institute of Hydro-climate), Hiroshi L. Tanaka (U. Tsukuba) and Peter A. Bieniek (UAF) |
| P02-019 | 高緯度北極ツンドラ生態系炭素循環に及ぼす温暖化影響—感度分析による各要因の影響評価— | 内田雅己(極地研) |
| P02-020 | 植物病原菌がツンドラ生態系における炭素循環に及ぼす影響 | 増本翔太(極地研)、内田雅己(極地研/総研大)、伊村智(極地研/総研大)、東條元昭(大阪府立大) |
| P02-021 | データ同化による陸域植生モデルと観測と融合 | 伊勢 武史(京都大)、池田 成貴(京都大) |
| P02-022 | Accurate detection of year-to-year variability of growing season in a boreal forest in eastern Siberia | Shin Nagai (JAMSTEC), Ayumi Kotani (Nagoya U.), Syunsuke Tei (NIPR/Hokkaido U.), Rikie Suzuki (JAMSTEC) and Atsuko Sugimoto (Hokkaido U.) |
| P02-023 | 陸域観測-モデル連携: GTMIP stage 1 入力・検証用データセット (Kevo・Tiksi) GTMIP stage 1: Driver and validation dataset at Kevo and Tiksi derived from GRENE-TEA Collaborative Observational Studies | 町屋広和(極地研/JAMSTEC)、森淳子(極地研/JAMSTEC)、佐藤篤司(極地研/防災科研)、飯島慈裕(JAMSTEC)、矢吹裕伯(JAMSTEC)、兒玉裕二(極地研)、荒木田葉月(理研)、伊勢武史(京都大)、宮崎真(株式会社ソニック)、斉藤和之(JAMSTEC) Hirokazu Machiya (NIPR/JAMSTEC), Junko Mori (NIPR/JAMSTEC), Atushi Sato (NIPR/NIED), Yoshihiro Iijima (JAMSTEC), Hironori Yabuki (JAMSTEC), Yuji Kodama (NIPR), Hazuki Arakida (RIKEN), Takeshi Ise (Kyoto U.), Shin Miyazaki (SONIC (Inc.)) and Kazuyuki Saito (JAMSTEC) |
| P02-024 | 北極陸域モデル相互比較プロジェクト GTMIP stage1 -積雪・凍土・土壌水分再現性比較- GRENE-TEA model intercomparison (GTMIP) stage 1 - Comparison of the reproducibility of snowpack, frozen ground and soil water contents - | 森淳子(極地研/JAMSTEC)、斉藤和之(JAMSTEC)、町屋広和(極地研/JAMSTEC)、宮崎 真(株式会社ソニック)、GTMIP グループ Junko Mori (NIPR/JAMSTEC), Kazuyuki Saito (JAMSTEC), Hirokazu Machiya (NIPR/JAMSTEC), Shin Miyazaki (SONIC(Inc.)) and The GTMIP Group 1 |

研究課題3. 大気

| | | |
|---------|--|--|
| P03-025 | 雲レーダー FALCON-A による北極ニーオルスンでの雲観測 | 鷹野敏明(千葉大)、矢永賢洋(千葉大)、永瀬雄斗(千葉大)、渡辺哲郎(千葉大)、井浦太一(千葉大)、森大知(千葉大)、河村洋平(千葉大)、中田裕之(千葉大)、塩原匡貴(極地研/総研大)、山内恭(極地研/総研大) |
| P03-026 | 雲粒子顕微鏡ゾンデによるニーオルスンでの係留気球観測 Tethered balloon-borne cloud measurements with Cloud Particle Microscope sonde in Ny-Alesund | 小林 拓(山梨大)、塩原匡貴(極地研)、佐藤和敏(極地研)、大洞行星(学芸大)、小池真(東大)、鷹野敏明(千葉大)、宇野賢吾(東大)、浮田甚郎(新潟大) Hiroshi Kobayashi (U. Yamanashi), Masataka Shiobara (NIPR), Kazutoshi Sato (NIPR), Kosei Ohora (Tokyo Gakugei U.), Makoto Koike (U. Tokyo), Toshiaki Takano (Chiba U.), Kengo Uno (U. Tokyo), and Jinro Ukita (Niigata U.) |
| P03-027 | Measurement of refractory black carbon mass concentrations in falling and deposited snow in the Arctic | P.R. Sinha (U. Tokyo/TIFR), Y.Kondo (NIPR), M. Koike (U. Tokyo), S. Ohata (U. Tokyo), N. Moteki (U. Tokyo), T. Mori (U. Tokyo), K. Azuma (NIPR), and Y. Tsukagawa (NIPR) |

| | | |
|---------|--|--|
| P03-028 | シベリア三大河川における大気・陸域水循環の解明と、北極の大気-海洋-陸域相互作用研究への展望 | 大島和裕 (JAMSTEC)、朴昊澤 (JAMSTEC)、吉川泰弘 (北見工大)、緒方香都 (三重大/気象庁)、立花義裕 (三重大) |
| P03-029 | Three Dimensional Structures of the Arctic Cyclones | Takuro AIZAWA (U. Tsukuba) and Hiroshi L. TANAKA (U. Tsukuba) |
| P03-030 | 北半球の自然変動が十年スケールの地上気温変動に及ぼす影響についての研究 | 田村 美奈 (筑波大)、田中 博 (筑波大) |
| P03-031 | The moisture updrafts on the cold pool captured by the continuously radiosonde observation passing through the marginal ice zone in Laptev Sea | Kensuke K. Komatsu (Mie U.), Yoshihiro Tachibana (Mie U.) and Vladimir Alexeev (UAF) |
| P03-032 | 初冬の日本に影響を与える大気循環と周辺の海面水温の季節変化 | 安藤 雄太 (三重大)、小木 雅世 (極地研)、立花 義裕 (三重大/マニトバ大)、小寺 邦彦 (三重大/名古屋大)、山崎 孝治 (極地研/三重大/北大) |
| P03-033 | The role of the cold Okhotsk Sea in the strengthening the Pacific subtropical high and Baiu precipitation | K. Kawasaki (Mie U.), Y. Tachibana (Mie U.), T. Nakamura (NIPR/Hokkaido U.), K. Yamazaki (NIPR/Hokkaido U./Mie U.), and K. Kodera (Mie U./Nagoya U.) |
| P03-034 | 大気における極向きエネルギー輸送に関する南北風の再評価 | 春山哲範 (新潟大)、浮田甚郎 (新潟大)、本田明治 (新潟大)、岩本勉之 (新潟大/極地研/紋別市役所) |
| P03-035 | 北極域海水域変動の成層圏対流圏結合系への影響 | 星一平 (新潟大)、浮田甚郎 (新潟大)、本田明治 (新潟大)、岩本勉之 (新潟大/極地研/紋別市役所)、中村哲 (極地研/北大)、山崎孝治 (極地研/北大) |
| P03-036 | 北半球冬期気候変動の要因分析のための Hindcast 実験の概要と初期解析結果 | 中村哲 (極地研/北大)、山崎孝治 (極地研/北大)、浮田甚郎 (新潟大)、岩本勉之 (新潟大/極地研/紋別市役所)、本田明治 (新潟大)、三好勉信 (九州大)、小川泰信 (極地研/総研大)、富川喜弘 (極地研/総研大) |
| P03-037 | オホーツク海の海水減少に対する大気応答 | 西井和晃 (東大)、中村尚 (東大)、中村哲 (極地研/北大) |
| | Atmospheric response to anomalous sea ice in the Sea of Okhotsk | Kazuaki Nishii (U. Tokyo), Hisashi Nakamura (U. Tokyo) and Tetsu Nakamura (NIPR/Hokkaido U.) |
| P03-038 | 北極海水変動がもたらす 極海水変動がもたらす大気への局所的な影響 ~3 次元波活動フラックスと 3 次元残差循環を用いた 次元残差循環を用いた 次元残差循環を用いた解析~ | 富川喜弘 (極地研/総研大)、三好勉信 (九州大)、中村哲 (極地研/北大)、山崎孝治 (極地研/北大)、浮田甚郎 (新潟大) |

研究課題4. 雪氷

| | | |
|---------|--|---|
| P04-039 | グリーンランド氷床ダイナミクスと氷河地震活動 | 金尾政紀 (極地研)、坪井誠司 (JAMSTEC)、姫野哲人 (滋賀大)、豊国源知 (東北大)、東野陽子 (JAMSTEC)、Kent Anderson (IRIS) |
| | Greenland Ice Sheet Dynamics and Glacial Earthquake Activities | Masaki Kanao (NIPR), Seiji Tsuboi (JAMSTEC), Tetsuto Himeno (Shiga U.), Genchi Toyokuni (Tohoku U.), Yoko. Tono (JAMSTEC) and Kent Anderson (IRIS) |
| P04-040 | グリーンランド氷床における広帯域連続地震波形記録を用いた地震波干渉法解析 | 豊国 源知 (東北大)、竹中博士 (岡山大)、金尾政紀 (極地研)、坪井誠司 (JAMSTEC)、東野 陽子 (文科省) |
| | Ambient noise cross-correlation analysis using broadband continuous seismic waveform data from the Greenland ice sheet | Genti Toyokuni (Tohoku U.), Hiroshi Takenaka (Okayama U.), Masaki Kanao (NIPR), Seiji Tsuboi (JAMSTEC), and Yoko Tono (MEXT) |
| P04-041 | グリーンランド北西部における氷床から海洋への融解水流出 | 松野智 (北大)、津滝俊 (極地研/低温研)、榊原大貴 (北大)、杉山慎 (低温研) |
| | Melt water runoff from ice sheet to ocean in northwestern Greenland | Satoshi Matsuno (Hokkaido U.), Shun Tsutaki (NIPR/ILTS), Daiki Sakakibara (Hokkaido U.), Shin Sugiyama (ILTS) |
| P04-042 | グリーンランド北西部における溢流氷河の末端位置と流動速度の季節変化 | 榊原大貴 (北大)、杉山慎 (低温研) |
| | Seasonal variations in frontal positions and flow speeds of marine terminating outlet glaciers in northwestern Greenland | Daiki Sakakibara (Hokkaido U.) and Shin Sugiyama (ILTS) |
| P04-043 | グリーンランド氷床北西部 Thule 地域沿岸における高濁度海水域の変動 | 大橋良彦 (北大)、飯田高大 (北大)、杉山慎 (低温研)、青木茂 (低温研) |
| | Spatial and temporal variations in high turbidity surface water off the Thule region, Northwestern Greenland | Yoshihiko Ohashi (Hokkaido U.), Takahiro Iida (Hokkaido U.), Shin Sugiyama (ILTS) and Shigeru Aoki (ILTS) |
| P04-044 | Water properties and circulation in front of tidewater glaciers in northwestern Greenland | Minowa Masahiro (Hokkaido U.), Shin Sugiyama (ILTS), Yoshihiko Ohashi (Hokkaido U.), Takanobu Sawagaki (Hosei U.), Shun Tsutaki (NIPR/ILTS), Daiki Sakakibara (Hokkaido U.), Shigeru Aoki (ILTS), Podolskiy Evgeny (Hokkaido U.) and Yvo Weidmann (ETH) |
| P04-045 | Short-term variations in the dynamics of Bowdoin Glacier in northwestern Greenland | Masahiro Minowa (Hokkaido U.), Shin Sugiyama (ILTS), Takanobu Sawagaki (Hosei U.), Shun Tsutaki (NIPR/ILTS) and Daiki Sakakibara (Hokkaido U.) |
| P04-046 | Seismic emissions from a tide-water calving glacier (Bowdoin Glacier, Greenland) | Evgeny A. Podolskiy (Hokkaido U.), Shin Sugiyama (Hokkaido U.), Martin Funk (ETH), Riccardo Genko (U. Florence), Masahiro Minowa (Hokkaido U.), Fabian Walter (ETH), Shun Tsutaki (NIPR/ILTS), and Maurizio Ripepe (U. Florence) |

| | | |
|----------------|---|--|
| <p>P04-047</p> | <p>グリーンランド氷床北西部の積雪堆積環境の時空間変動</p> <p>Spatiotemporal variations of snow accumulation condition in the northwestern Greenland Ice Sheet</p> | <p>的場澄人(低温研)、門田萌(北大)、對馬あかね(極地研)、箕輪昌紘(北大)、山口悟(防災科研)、津滝俊(極地研/低温研)、澤柿教伸(法政大)、青木輝夫(気象研)、杉山慎(低温研)、本山秀明(極地研/総研大)、榎本浩之(極地研/総研大)</p> <p>Sumito Matoba (ILTS), Moe Kadota (Hokkaido U.), Akane Tsushima (NIPR), Masahiro Minowa (Hokkaido U.), Satoru Yamaguchi (NIED), Shun Tsutaki (NIPR/ILTS), Takanobu Sawagaki (Hosei U.), Teruo Aoki (MRI), Shin Sugiyama (ILTS), Hideaki Motoyama (NIPR/SOKENDAI), and Hiroyuki Enomoto (NIPR/SOKENDAI)</p> |
| <p>P04-048</p> | <p>グリーンランド北西部における近年の水質量損失 – GRENE グリーンランドプロジェクトの成果と ArCS プロジェクトへの展望 –</p> <p>Recent ice mass loss in northwestern Greenland – Results of the GRENE Greenland project and overview of the ArCS –</p> | <p>杉山慎(低温研)、津滝俊(極地研/低温研)、榊原大貴(北大)、齊藤潤(北大)、大橋良彦(北大)、丸山未妃呂(北大)、片山直紀(北大)、エウゲニ・ポドルスキ(北大)、箕輪昌紘(北大)、松野智(北大)、澤柿教伸(法政大)、的場澄人(低温研)、マーティン・フंक(ETH)、リカルド・ゲンコ(フィレンツェ大)、榎本浩之(極地研)</p> <p>Shin Sugiyama (ILTS), Shun Tsutaki (NIPR/ILTS), Daiki Sakakibara (Hokkaido U.), Jun Saito (Hokkaido U.), Yoshihiko Ohashi (Hokkaido U.), Mihiro Maruyama (Hokkaido U.), Naoki Katayama (Hokkaido U.), Evgeny Podolskiy (Hokkaido U.), Masahiro Minowa (Hokkaido U.), Satoshi Matsuno (Hokkaido U.), Takanobu Sawagaki (Hosei U.), Sumito Matoba (ILTS), Martin Funk (ETH), Riccardo Genco (U. Florence), Hiroyuki Enomoto (NIPR)</p> |
| <p>P04-049</p> | <p>北極圏の氷河・氷床の生物学的暗化過程とその融解への効果</p> <p>Biotic darkening processes and its impact on surface melting of the Arctic glaciers and ice sheet</p> | <p>竹内望(千葉大)、藤沢雄太(千葉大)、田中聡太(千葉大)、大沼友貴彦(千葉大)、島田利元(千葉大)、永塚尚子(極地研)、植竹淳(極地研)</p> <p>Nozomu Takeuchi (Chiba U.), Yuta Fujisawa (Chiba U.), Sota Tanaka (Chiba U.), Yukihiko Onuma (Chiba U.), Rigen Shimada (Chiba U.), Naoko Nagatsuka (NIPR) and Jun Uetake (NIPR)</p> |
| <p>P04-050</p> | <p>グリーンランドの積雪における雪氷藻類の繁殖とそのアルベド効果のモデル化</p> <p>Modeling of microbial growth and its albedo effect on snow surface in north-west Greenland</p> | <p>大沼友貴彦(千葉大)、竹内望(千葉大)、田中聡太(千葉大)、永塚尚子(極地研)、庭野匡思(気象研)、青木輝夫(気象研)</p> <p>Yukihiko Onuma (Chiba U.), Nozomu Takeuchi (Chiba U.), Sota Tanaka (Chiba U.), Naoko Nagatsuka (NIPR), Masashi Niwano (MRI) and Teruo Aoki (MRI)</p> |
| <p>P04-051</p> | <p>北極圏氷河の雪氷藻類群集の経年変動とその要因</p> <p>Inter-annual variability of snow and ice algal community on glaciers in Arctic</p> | <p>田中聡太(千葉大)、竹内望(千葉大)、宮入匡矢(千葉大)、藤澤雄太(千葉大)、門田勤(JAMSTEC)、白川龍生(北見工大)、日下稜(北見工大)、高橋修平(北見工大)、榎本浩之(極地研)、大畑哲夫(JAMSTEC)、矢吹裕伯(JAMSTEC)、紺屋恵子(JAMSTEC)、Alexander Fedorov (MPI)、Pavel Konstantinov (MPI)</p> <p>Sota Tanaka (Chiba U.), Nozomu Takeuchi (Chiba U.), Masaya Miyairi (Chiba U.), Yuta Fujisawa (Chiba U.), Tsutomu Kadota (JAMSTEC), Tatsuo Shirakawa (Kitami Inst. Tech.), Ryo Kusaka (Kitami Inst. Tech.), Shuhei Takahashi (Kitami Inst. Tech.), Hiroyuki Enomoto (NIPR), Tetsuo Ohata (JAMSTEC), Hironori Yabuki (JAMSTEC), Keiko Konya (JAMSTEC), Alexander Fedorov (MPI), Pavel Konstantinov (MPI)</p> |
| <p>P04-052</p> | <p>東シベリア・スタラルハヤタ山塊のNo. 31 氷河の長期変動に関する考察</p> <p>Consideration on Characteristics of Glacier Variation of No. 31 Glacier in the Suntar-Khayata Mountain Range, Eastern Siberia</p> | <p>大畑哲夫(極地研)、門田勤(JAMSTEC)、白川龍生(北見工大)、張 勇(極地研)、アレキサンダー・フェドロフ(RAS)、榎本浩之(極地研)</p> <p>Tetsuo Ohata (NIPR), Tsutomu Kadota (JAMSTEC), Tatsuo Shirakawa (Kitami Inst. Tech.), Yong Zhang (NIPR), Alexander Fedorov (RAS) and Hiroyuki Enomoto (NIPR)</p> |
| <p>P04-053</p> | <p>東シベリア・スタラルハヤタ氷河における気象観測(2012-2014)</p> | <p>白川龍生(北見工大)、大畑哲夫(極地研)、Alexander Fedorov (RAS)</p> |
| <p>P04-054</p> | <p>東シベリア・ヤクーツクとアラスカ・PFRR における降雪観測</p> <p>Snowfall observations at Yakutsk in East Siberia and at Poker Flat Research Range in Alaska</p> | <p>平沢尚彦(極地研)、杉浦幸之助(富山大/JAMSTEC)、保坂征宏(気象研)、Trofim Maximov (SB RAS)</p> <p>Naohiko Hirasawa (NIPR), Konosuke Sugiura (U. Toyama/JAMSTEC), Masahiro Hosaka (MRI) and Trofim Maximov (SB RAS)</p> |
| <p>P04-055</p> | <p>定点観測による北方林の着雪氷が大気に及ぼす影響</p> | <p>杉浦幸之助(富山大/JAMSTEC)、永井信(JAMSTEC)、鈴木力英(JAMSTEC)、Hajo Eicken (IARC)、Trofim Maximov (RAS)</p> |
| <p>P04-056</p> | <p>航空機搭載マイクロ波放射計を用いたアラスカ積雪域観測</p> <p>Airborne passive microwave observation of snow covered area in Alaska</p> | <p>ヌアスムグリ アリマス(極地研/北見工大)、榎本浩之(極地研/総研大)、亀田貴雄(北見工大)</p> <p>Nuerasimuguli Alimasi (NIPR/Kitami Inst. Tech.), Hiroyuki Enomoto (NIPR/SOKENDAI) and Takao Kameda (Kitami Inst. Tech.)</p> |
| <p>P04-057</p> | <p>Sr-Nd 同位体比を用いた北極域の積雪中ダストの供給源推定</p> <p>Variations in Sr and Nd isotopic ratios of mineral dust in Arctic snow</p> | <p>永塚尚子(極地研)、塚川佳美(極地研)、東久美子(極地研)、杉浦幸之助(富山大)、榎本浩之(極地研)、中野孝教(地球研)</p> <p>Naoko NAGATSUKA (NIPR), Yoshimi OGAWA-TSUKAGAWA (NIPR), Kumiko GOTO-AZUMA (NIPR), Konozuke SUGIURA (U. Toyama), Hiroyuki ENOMOTO (NIPR) and Takanori NAKANO (RIHN)</p> |
| <p>P04-058</p> | <p>アラスカ積雪中のブラックカーボン及び固体微粒子の空間分布</p> | <p>塚川佳美(極地研)、東久美子(極地研/総研大)、近藤豊(極地研)、杉浦幸之助(富山大)、大畑祥(東大)、森樹大(東大)、茂木信宏(東大)、小池真(東大)、平林幹啓(極地研)、Remi Dallmayr(極地研)、榎本浩之(極地研/総研大)</p> |
| <p>P04-059</p> | <p>Surface mass balance of Arctic glaciers: past and future trends</p> | <p>Yong Zhang (NIPR), Hiroyuki Enomoto (NIPR), Tetsuo Ohata (NIPR), Hideyuki Kitabata (JAMSTEC), Tsutomu Kadota (JAMSTEC), Yukiko Hirabayashi (U. Tokyo)</p> |

| | | |
|----------------------|--|---|
| P04-060 | Application of a distributed surface mass balance model to ice caps in northwestern Greenland | Keiko Konya (JAMSTEC), Jun Saito (ILTS), Mihiro Maruyama (ILTS) and Shin Sugiyama (ILTS) |
| P04-061 | グリーンランド北西部カナック地域ボードイン氷河の流動に関する数値実験 Modeling the flow dynamics of Bowdoin Glacier, Qaanaaq region, northwestern Greenland | セディック ハキム(低温研)、グレーベラルフ(低温研)、杉山慎(低温研)、榎原大貴(北大)、津滝俊(極地研/低温研) Hakime Seddik (ILTS), Ralf Greve (ILTS), Shin Sugiyama (ILTS), Daiki Sakakibara (北大) and Shun Tsutaki (NIPR/ILTS) |
| P04-062 | Structural Uncertainties in Simulated Projection of Greenland ice sheet | SAITO Fuyuki (JAMSTEC), Ayako ABE-OUCHI (U. Tokyo/JAMSTEC) and Kunio TAKAHASHI (JAMSTEC) |
| 研究課題5. 温室効果気体 | | |
| P05-063 | 将来の気候変動が北半球高緯度域の陸域炭素収支に与える影響 : ISI-MIP データを用いた解析 Impacts of future climate change on the carbon budget of northern high-latitude terrestrial ecosystems: an analysis using ISI-MIP data | 伊藤昭彦(環境研/JAMSTEC)、仁科一哉(環境研)、野田響(環境研) Akihiko Ito (NIES/JAMSTEC), Kazuya Nishina (NIES) and Hibiki M. Noda (NIES) |
| P05-064 | High-resolution CO2 flux inversion model for regional study in Siberia | Shamil Maksyutov (NIES), Rajesh Janardanan (NIES), Makoto Saito (NIES), Akihiko Ito (NIES), Tom Oda (USRA/GSFC NASA), Johannes W Kaiser(MPI for Chemistry), Dmitry Belikov (NIPR/NIES), Alexander Ganshin (CAO), Ruslan Zhuravlev (CAO/Tomsk U.), Vinu Valsala (IITM), Motoki Sasakawa (NIES) and Toshinobu Machida (NIES) |
| P05-065 | Simulation of CO2 and CH4 in the subarctic using coupled Eulerian-Lagrangian model | Dmitry Belikov (NIPR/NIES/Tomsk U.), Shamil Maksyutov (NIES), A. Ganshin (Tomsk U./CAO), R. Zhuravlev (Tomsk U./CAO), Motoki Sasakawa (NIES) and Shuji Aoki (Tohoku U.) |
| P05-066 | Assessment of ACTM global model performance using CONTRAIL aircraft observations of greenhouse gases | K. Ravi Kumar (NIPR/JAMSTEC), P.K. Patra (JAMSTEC), K. Ishijima (JAMSTEC), T. Saeki (JAMSTEC), T. Machida (NIES), H. Matsueda (MRI), Y. Sawa (MRI), S. Aoki (Tohoku U.) |
| P05-067 | Analysis of atmospheric methane from Siberian tower observation using chemistry transport model | Kentaro Ishijima (JAMSTEC), Motoki Sasakawa (NIES), Toshinobu Machida (NIES), Prabir K. Patra (JAMSTEC), Akihiko Ito (NIES), K. Ravi Kumar (NIPR/JAMSTEC), Tazu Saeki (JAMSTEC), Shinji Morimoto (Tohoku U.), Shuji Aoki (Tohoku U.) and Takakiyo Nakazawa (Tohoku U.) |
| P05-068 | 西シベリアにおけるタワー観測ネットワークを用いた二酸化炭素・メタンの連続測定 | 笹川基樹(環境研)、町田敏暢(環境研)、勝又啓一(環境研)、津田憲次(地球環境人間フォーラム)、M. Arshinov(ロシア大気光学研究所) |
| P05-069 | スヴァールバル諸島ニーオルスンにおける酸素/窒素比および大気ポテンシャル酸素の高精度連続観測 High-precision continuous measurements of the atmospheric oxygen/nitrogen ratio and atmospheric potential oxygen at Ny-Ålesund, Svalbard | 後藤大輔(極地研)、森本真司(東北大)、青木周司(東北大)、Prabir K. Patra(JAMSTEC)、中澤高貴(東北大) Daisuke Goto (NIPR), Shinji Morimoto (Tohoku U.), Shuji Aoki (Tohoku U.), Prabir K. Patra (JAMSTEC) and Takakiyo Nakazawa (Tohoku U.) |
| P05-070 | 北海道利尻島における大気中 CO ₂ , CH ₄ , CO と Black Carbon の変動 Variations in atmospheric CO ₂ , CH ₄ , CO and BC on Rishiri Island, northern Japan | 吉川久幸(北大)、遠嶋康徳(環境研)、入野智久(北大)、朱春茂(JAMSTEC) Hisayuki Yoshikawa (Hokkaido U.), Yasunori Tohjima (NIES), Tomohisa Irino (Hokkaido U.), and Chunmao Zhu (JAMSTEC) |
| P05-071 | 北極域における大気中 N ₂ O isotopocule の時空間分布 | 豊田栄(東工大)、渡辺由羽馬(東工大)、町田敏暢(環境研)、遠嶋康徳(環境研)、森本真司(東北大)、Doug Worthy(カナダ環境省研究所)、石島健太郎(JAMSTEC)、吉田尚弘(東工大) |
| P05-072 | 北極海における溶存メタンおよび一酸化二窒素の濃度と isotopocule の分布 | 豊田栄(東工大)、工藤久志(東工大)、Florian Breider(東工大)、柿本嵩人(東工大)、山田桂太(東工大)、吉田尚弘(東工大)、笹野大輔(気象研)、小杉如央(気象研)、石井雅男(気象研)、吉川久幸(北大)、亀山宗彦(北大)、稲川満穂実(北大)、西野茂人(JAMSTEC)、内田裕(JAMSTEC)、村田昌彦(JAMSTEC) |
| P05-073 | Atmospheric CH4 distributions observed during Arctic cruises of R/V Mirai in 2012-2015 | Y. Tohjima (NIES), K. Katsumata (NIES), J. Matsushita (NIPR), D. Sasano (MRI), N. Kosugi (MRI), S. Kameyama (Hokkaido U.), S. Ishidoya (AIST), K. Ishijima (JAMSTEC) and P. Patra (JAMSTEC) |
| P05-074 | 北極海 CO2 フラックスの推定: 広域分布と季節・経年変化 Mapping of the air-sea CO2 flux in the Arctic Ocean and its surrounding seas: Basin-wide distribution and seasonal to interannual variability | Sayaka Yasunaka (JAMSTEC), Akihiko Murata (JAMSTEC), Eiji Watanabe (JAMSTEC), Melissa Chierici (IMR/U. Gothenburg), Agneta Fransson (NPI), Steven van Heuven (NIOZ), Mario Hoppema (AWI), Masao Ishii (MRI), Truls Johannessen (U. Bergen), Naohiro Kosugi (MRI), Siv K. Lauvset (U. Bergen), Jeremy T. Mathis (NOAA), Shigeto Nishino (JAMSTEC), Abdurahman M. Omar (Uni Research AS), Are Olsen (U. Bergen), Daisuke Sasano (MRI), Taro Takahashi (Columbia U.), Rik Wanninkhof (NOAA) |
| P05-075 | 北極域における大気ポテンシャル酸素と大気海洋間酸素フラックスの船舶観測 Shipboard Observations of Atmospheric Potential Oxygen and air-sea O2 flux in the northern North Pacific and the Arctic Ocean | 石戸谷重之(産総研)、内田裕(JAMSTEC)、笹野大輔(気象研)、小杉如央(気象研)、田口彰一(産総研)、亀山宗彦(北大)、石井雅男(気象研)、森本真司(東北大)、遠嶋康徳(環境研)、西野茂人(JAMSTEC)、村山昌平(産総研)、青木周司(東北大)、石島健太郎(JAMSTEC)、藤田遼(東北大)、後藤大輔(極地研)、中澤高貴(東北大) Shigeyuki Ishidoya (AIST), Hiroshi Uchida (JAMSTEC), Daisuke Sasano (MRI), Naohiro Kosugi (MRI), Shoichi Taguchi (AIST), Sohiko Kameyama (Hokkaido U.), Masao Ishii (MRI), Shinji Morimoto (Tohoku U.), Yasunori Tohjima (NIES), Shigeto Nishino (JAMSTEC), Shohei Murayama (AIST), Shuji Aoki (Tohoku U.), Kentaro Ishijima (JAMSTEC), Ryo Fujita (Tohoku U.), Daisuke Goto (NIPR) and Takakiyo Nakazawa (Tohoku U.) |

| 研究課題6. 海洋生態系 | | |
|--------------|--|--|
| P06-076 | 北極海の海水変動予測における海洋熱の重要性 | 中野渡 拓也(極地研/低温研)、猪上 淳(極地研/JAMSTEC/総研大)、佐藤 和敏(極地研)、菊地 隆(JAMSTEC) |
| P06-077 | 北極海バロー海底谷における流量、淡水、熱輸送量の長期変動 | 伊東素代(JAMSTEC)、菊地隆(JAMSTEC)、西野茂人(JAMSTEC) |
| P06-078 | Water mass characteristics and their temporal changes in a biological hotspot in the southern Chukchi Sea | Shigeto Nishino (JAMSTEC), Takashi Kikuchi (JAMSTEC), Amane Fujiwara (JAMSTEC), Toru Hirawake (Hokkaido U.), and Michio Aoyama (JAMSTEC/Fukushima U.) |
| P06-079 | CryoSat-2/SIRAL 観測で明らかになった冬期北極海におけるポーフォート循環の変動 Wintertime variability of the Beaufort Gyre in the Arctic Ocean derived from CryoSat-2/SIRAL observations | 溝端浩平(海洋大)、渡邊 英嗣(JAMSTEC)、木村詞明(極地研/東大) Kohei Mizobata (TUMSAT), Eiji Watanabe (JAMSTEC) and Noriaki Kimura (NIPR/U. Tokyo) |
| P06-080 | A role of sea ice melt water on iron supply to surface water in the polar and the sub-polar Ocean | Naoya Kanna (ILTS) and Jun Nishioka (ILTS) |
| P06-081 | Transport of trace metals (Mn, Fe, Ni, Zn and Cd) in the western Arctic Ocean (Chukchi Sea and Canada Basin) in summer 2012 | Yoshiko Kondo (NIPR/Nagasaki U.), Hajime Obata (AORI), Nanako Hioki (Hokkaido U.), Atsushi Ooki (Hokkaido U.), Shigeto Nishino (JAMSTEC), Takashi Kikuchi (JAMSTEC) and Kenshi Kuma (Hokkaido U.) |
| P06-082 | Distributions of volatile organic iodine compounds in the western Arctic Ocean (Chukchi Sea and Canada Basin) in summer 2012 –a possibility of production in relation to the degradation of organic matter | Atsushi Ooki (Hokkaido U.), Shuho Kawasaki (Hokkaido U.), Shigeto Nishino (JAMSTEC), Takashi Kikuchi (JAMSTEC) and Kenshi Kuma (Hokkaido U.) |
| P06-083 | 強風イベントに対する従属栄養性バクテリア群集の応答: 西部北極海チュクチ陸棚域における定点観測 Strong wind events resulted in enhanced bacterial production in the Chukchi Shelf, western Arctic Ocean | 内宮万里央(極地研/東大気海洋研)、西野茂人(JAMSTEC)、小川浩史(東大気海洋研)、永田俊(東大気海洋研) Mario Uchimiya (NIPR/AORI), Shigeto Nishino (JAMSTEC), Hiroshi Ogawa (AORI) and Toshi Nagata (AORI) |
| P06-084 | 西部北極圏海域における海水中の二酸化炭素分圧に対する生物活動の寄与 | 夫津木亮介(北大)、平譚享(北大)、菊地隆(JAMSTEC)、西野茂人(JAMSTEC)、笹野大輔(気象研)、石井雅夫(気象研)、鈴木光次(北大)、渡邊豊(北大) |
| P06-085 | 北極海環境変動研究: 海水減少と海洋生態系の変化 おしよろ丸によるベーリング・チャクチ海観測航海報告 Ecosystem studies of the Arctic Ocean declining Sea ice: Report on research cruise of T/S Oshoro Maru in the Bering and Chukchi Seas | 平譚享(北大)、綿貫 豊(北大)、菊地 隆(JAMSTEC)、おしよろ丸乗船共同研究者 Toru Hirawake (Hokkaido U.), Yutaka Watanuki (Hokkaido U.), Takashi Kikuchi (JAMSTEC) and co-researchers |
| P06-086 | 海水減少に対する基礎生産者の応答 | 藤原周(JAMSTEC)、平譚享(北大)、鈴木光次(北大)、Lisa Eisner (NOAA)、西野茂人(JAMSTEC)、菊地隆(JAMSTEC)、今井一郎(北大)、齊藤誠一(北大) |
| P06-087 | Distributional shifts in size structure of phytoplankton community | Hisatomo Waga (Hokkaido U.), Toru Hirawake (Hokkaido U.), Amane Fujiwara (JAMSTEC), Shigeto Nishino (JAMSTEC), Takashi Kikuchi (JAMSTEC), Koji Suzuki (Hokkaido U.), Shintaro Takao (Hokkaido U.) and Sei-Ichi Saitoh (Hokkaido U.) |
| P06-088 | チャクチ海南部における動物プランクトン量の季節変動 | 喜多村稔(JAMSTEC)、甘糟和男(海洋大)、西野茂人(JAMSTEC)、菊池隆(JAMSTEC) |
| P06-089 | Characteristics of the summer decapod larvae community through Bering and Chukchi Seas | Jose M. Landeira (Hokkaido U.), Kohei Matsuno (NIPR/Hokkaido U.), Atsushi Yamaguchi (Hokkaido U.), Toru Hirawake (Hokkaido U.), Takashi Kikuchi (JAMSTEC) |
| P06-090 | 北部ベーリング海およびチャクチ海における北極海産・太平洋産カイアシ類の分布とその環境について | 佐々木裕子(極地研/北大)、松野孝平(極地研/北大)、藤原周(JAMSTEC)、大額実咲(北大)、山口篤(北大)、上野洋路(北大)、綿貫豊(北大)、菊地隆(JAMSTEC) |
| P06-091 | 北部ベーリング海・チャクチ海におけるホッキョクダラ(Boreogadus saida) 仔魚の分布と海洋環境との関係 | 河野唯(北大)、佐々木裕子(極地研/北大)、栗原縁(株式会社エコニクス)、藤原周(JAMSTEC)、山本潤(北大)、桜井泰憲(北大) |
| P06-092 | 海洋生態系のカギ種と汚染を海鳥から探る Seabirds as indicators of changing marine food webs and pollution | 綿貫豊(北大)、西沢文吾(北大)、松野孝平(極地研/北大)、山本誉士(極地研/北大)、C.E. Meathrel(ラトロブ大)、P.N. Trathan(英国南極局) Yutaka Watanuki (Hokkaido U.), Bungo Nishizawa (Hokkaido U.), Kohei Matsuno (NIPR/Hokkaido U.), Takashi Yamamoto (NIPR/Hokkaido U.), C.E. Meathrel (LaTrobe U.), P.N. Trathan (BAS) |
| P06-093 | ベーリング海北部およびチャクチ海におけるホッキョクダラの食性と栄養状態 Diets and body condition of polar cod (Boreogadus saida) in the northern Bering Sea and Chukchi Sea | 中野 翼(北大)、松野孝平(極地研/北大)、西沢文吾(北大)、岩原由佳(北大)、三谷曜子(北大)、山本潤(北大)、桜井泰憲(北大)、綿貫豊(北大) Tsubasa Nakano (Hokkaido U.), Kohei Matsuno (NIPR/Hokkaido U.), Bungo Nishizawa (Hokkaido U.), Yuka Iwahara (Hokkaido U.), Yoko Mitani (Hokkaido U.), Jun Yamamoto (Hokkaido U.), Yasunori Sakurai (Hokkaido U.), Yutaka Watanuki (Hokkaido U.) |
| P06-094 | ベーリング海の水温構造とハシブトウミガラスの採餌行動の年変動 Foraging ecology of thick-billed murres in the Bering Sea: variability in relation to ocean thermal structure | 國分互彦(極地研/総研大)、山本誉士(極地研/北大)、菊地デイル万次郎(総研大)、佐藤信彦(総研大)、綿貫豊(北大)、Alexander S. Kitaysky(アラスカ大)、高橋晃周(極地研/総研大) Nobuo Kokubun (NIPR/SOKENDAI), T. Yamamoto (NIPR/Hokkaido U.), D. Kikuchi (SOKENDAI), N. Sato (SOKENDAI), Y. Watanuki (Hokkaido U.), A. S. Kitaysky (UAF), A. Takahashi (NIPR/SOKENDAI) |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| P06-095 | The jellyfish buffet: jellyfish enhance seabird foraging opportunities by concentrating prey | Nobuhiko N. Sato (SOKENDAI), Nobuo Kokubun (NIPR/SOKENDAI), Takashi Yamamoto (NIPR/Hokkaido U.), Yutaka Watanuki (Hokkaido U.), Alexander S. Kitaysky (UAF) and Akinori Takahashi (NIPR/SOKENDAI) |
| P06-096 | Arctic NEMURO モデルの開発と海水域生態系研究への応用 | 渡邊英嗣 (JAMSTEC)、照井健志 (極地研)、石田明生 (常葉大)、岸道郎 (北大) |
| 研究課題7. 海水・北極海航路 | | |
| P07-097 | Prediction System for the Pan-Arctic sea ice with the MIROC Climate Model | Jun Ono (JAMSTEC), Masato I. Nodzu (MRI), Hiroaki Tatebe (JAMSTEC), Masayoshi Ishii (MRI), and Yukio Tanaka (JAMSTEC) |
| P07-098 | Short-term sea ice prediction for ice navigation in the Arctic sea routes using TIGGE data | Liyanarachchi Waruna Arampath De Silva (NIPR/U. Tokyo), Dulini Yasara Mudunkotuwa (U. Tokyo) and Hajime Yamaguchi (U. Tokyo) |
| P07-099 | 季節海水域化する北極海における海水-海洋アルベドフィードバック効果 | 柏瀬陽彦 (極地研/低温研)、大島慶一郎 (低温研)、二橋創平 (苫小牧高専)、Hajo Eicken (アラスカ大) |
| P07-100 | 北極海への大西洋水流入のモデリング研究 | 川崎高雄 (極地研/東大大気海洋研)、羽角博康 (東大大気海洋研/極地研) |
| P07-101 | 氷海船舶の氷荷重推定と構造・運動性能評価に関する研究 Numerical Estimation of Ice Forces and Ship Performance in Ice-covered Water | 澤村淳司 (大阪大) Junji SAWAMURA (Osaka U.) |
| P07-102 | 船体着氷の成長指標と着氷対策の検討 Study of Sea Spray Characteristics, Predictor and Anti-icing Method of Sea Spray Icing on Vessel | 尾関俊浩 (北海道教育大)、志賀俊成 (東大)、安達聖 (防災科研)、澤村淳司 (大阪大)、山口一 (東大) Toshihiro Ozeki (Hokkaido U. of Education), Toshinari Shiga (U. Tokyo), Satoru Adachi (NIED), Junji Sawamura (Osaka U.) and Hajime Yamaguchi (U. Tokyo) |
| P07-103 | 船舶と単独氷塊との衝突に関する安全性評価手法の検討 Examination of risk assessment method on collision between a ship and a bergy bit | 嶋原 達也 (工学院大)、金野 祥久 (工学院大) Tatsuya Shigihara (Kogakuin U.), Akihisa Konno (Kogakuin U.) |
| P07-104 | 船舶レーダ画像を用いた砕氷船の能力に応じた航路選択 Ice navigation according to the ability of the icebreaker using vessel radar images | 高木敏幸 (釧路高専)、館山和孝 (北見工大) Toshiyuki Takagi (NIT, Kushiro Col.), and Kazutaka Tateyama (Kitami Inst. Tech.) |
| P07-105 | 北極海航路に求められる海水情報の現在と展望 Sea ice information needed on NSR navigation | 佐川玄輝 (株式会社ウェザーニューズ) SAGAWA Genki (Weathernews Inc.) |
| P07-106 | 北極海航路における最適航路探索に関する研究 Study of route optimization for the Northern Sea Route | 今井 克哉 (東大)、山口 一 (東大)、中野 佑哉 (JST) |
| P07-107 | 北極海航路における氷海航行と経済合理性 Navigability and Economic Feasibility of the Northern Sea Route | 大塚夏彦 (北日本港湾コンサルタント(株))、森下裕士 (北見工大)、館山一孝 (北見工大) Natsuhiko OTSUKA (North Japan Port Consultants Co., Ltd.), Hiroshi MORISHITA (Kitami Inst. Tech.), Kazutaka TATEYAMA (Kitami Inst. Tech.) |
| 8. 北極域データアーカイブ (ADS) | | |
| PADS-01 | 極域を対象とした衛星データ可視化 Web サービスの開発と解析 | 照井健志 (極地研)、杉村剛 (極地研)、矢吹裕伯 (極地研/JAMSTEC) |
| PADS-02 | データ特性の視覚化を目的としたオンライン可視化アプリケーション VISION の開発 | 杉村剛 (極地研)、照井健志 (極地研)、矢吹裕伯 (極地研/JAMSTEC) |